

ファシリティマネジメント
フォーラム 2020

FACILITY

MANAGEMENT

FORUM 2020

第14回 日本ファシリティマネジメント大会

GUIDE BOOK

2020年2月19日(水)～
2月21日(金)

展示会開催日 2月20日(木)～21日(金)

人フォーカスの 時代

ファシリティマネジメントが拓く未来

主催者講演



山田 匡通
公益社団法人
日本ファシリティ
マネジメント協会 (JFMA)
会長

基調講演



柳沢 幸雄
開成中学校・高等学校校長、
東京大学名誉教授、
元ハーバード大学
公衆衛生大学院環境健康学科
准教授・併任教授



松本 晃
元カルビー株式会社
代表取締役会長兼CEO



石坂 典子
石坂産業株式会社
代表取締役

特別講演



松岡 利昌
株式会社松岡総合研究所
代表取締役
日本オフィス学会 会長
JFMA理事



島田 由香
ユニリーバ・ジャパン・
ホールディングス株式会社
取締役 人事総務本部長



北川 正恭
早稲田大学名誉教授
早稲田大学
マニフェスト研究所顧問
元 三重県知事



鶴谷 武親
CAPS株式会社
代表取締役社長
早稲田大学大学院
客員教授



高木 聡一郎
東京大学大学院
情報学環准教授



湯田 健一郎
東京テレワーク
推進センター
事業責任者

ファシリティマネジメント
フォーラム 2020

FACILITY MANAGEMENT FORUM 2020

第14回日本ファシリティマネジメント大会開催にあたり、
下記企業様から多大なるご支援を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

DIAMOND SPONSOR

		 明日の「働く」を、デザインする。 We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.	株式会社 内田洋行
	 BIM-FMソリューションを提供します	 JR東日本ビルテック	
 For a Lively World	 不動産・FMクラウド	 都市に豊かさと調いを	人を、想う力。街を、想う力。  三菱地所
 M O R I			

GOLD SPONSOR

	 誠実に、革新的に	 OBAYASHI		
	 ザイマックス			
		 HOLDINGS	 建物とともに生きる	 日比谷総合設備
				

SILVER SPONSOR

 Building a better working world		 職をつくる 人をつなぐ 設備をいやす	 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.	
				 TAISAY
				 東京ガスグループ
 EXPERIENCE, INTEGRATED		 FACILITY PARTNERS INC.		

JFMA

おもてなし SPONSOR



ファシリティマネジメント
フォーラム 2020

FACILITY MANAGEMENT FORUM 2020

第14回 日本ファシリティマネジメント大会

人フォーカスの 時代

ファシリティマネジメントが拓く未来

開催日

2020年2月19日(水)～
2月21日(金)

展示会開催日 2月20日(木)～21日(金)

会場

タワーホール船堀
(東京都江戸川区船堀 4-1-1)

主催

公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会
(JFMA)

後援

経済産業省
国土交通省
日本経済新聞社

協賛 (五十音順)

一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター
一般財団法人 建築保全センター
公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会
一般社団法人 東京建築士会
公益社団法人 土木学会
特定非営利活動法人 日本PFI・PPP協会
一般社団法人 日本アセットマネジメント協会
公益社団法人 日本医業経営コンサルタント協会
一般社団法人 日本オフィス家具協会
一般社団法人 日本経営協会
公益社団法人 日本建築家協会
一般社団法人 日本建築学会
公益社団法人 日本建築士会連合会
公益社団法人 日本建築積算協会
一般社団法人 日本コンストラクション・マネジメント協会
一般社団法人 日本能率協会
一般社団法人 日本ビルエネルギー総合管理技術協会
一般社団法人 日本ビルゼンゲ協会連合会
公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会
一般社団法人 ニューオフィス推進協会
一般社団法人 不動産協会
一般社団法人 不動産証券化協会
ロイヤル・チャータード・サバイヤーズ協会
公益社団法人 ロングライフビル推進協会
日本オフィス学会
(25団体)

ごあいさつ

第14回日本ファシリティマネジメント大会(ファシリティマネジメントフォーラム2020)にご来場いただき、誠にありがとうございます。

毎年、恒例となりました当大会も、今年で14回目を迎えることができました。これもご支援いただきました多くの皆様のご協力、ご支援によるものと深く感謝申し上げます。

今回の「ファシリティマネジメントフォーラム2020」では、『人フォーカスの時代ーファシリティマネジメントが拓く未来ー』をメインテーマと致しました。

基調講演は、開成中学校・高等学校校長で東京大学名誉教授の柳沢幸雄様、元カルビー株式会社代表取締役会長兼CEOの松本晃様、石坂産業株式会社代表取締役の石坂典子様、また、早稲田大学名誉教授(元三重県知事)の北川正恭様はじめ各界第一人者の方々の特別講演をいただくことになっております。

僭越ながら、私も主催者として、テーマ「こころの時代」で講演を予定しております。さらにグローバル、公共、病院、健康経営・WELL・働き方改革、SDGs、eコマース、BIM・FM、インフラマネジメントなどのシンポジウム、約80セッションの応募いただきました講演、調査研究委員会報告、スポンサーによる企業紹介、JFMA 賞授賞式と講演等々充実した発表が行われると共に、展示会やFM 入門者に向けた様々な企画も予定しております。

FMの英知を結集したファシリティマネジメントフォーラム2020への皆様のご来場をお待ちしております。

SDGsの理念は「誰一人取り残さない」です。言い換えると人々の幸せを追求することにほかなりません。今年は、人にフォーカスしたファシリティ構築への再スタートの年として、ますますのFMを進化すべく取り組んでまいります。フォーラムにご参加いただき、FM関係者の活気溢れるエネルギーを感じていただければ幸いです。

末筆となりましたが、開催にあたりご支援いただきましたスポンサーの皆様、ご講演いただく皆様、ご参加いただきました皆様、そして会員各位に改めまして深く感謝申し上げます。

2020年2月19日

山田 匡通

公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会 会長

大ホール	
13:30 ~ 14:10 (40分)	<p>【主催者講演】</p> <h2>こころの時代</h2> <p>山田 匡通 公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会 会長</p> <p style="text-align: right;">10</p>
インターミッション 10分	
14:20 ~ 15:40 (80分)	<p>【基調講演】</p> <h2>Our Business is People Business</h2> <p>-人間は環境の動物である-</p> <p>松本 晃 元カルビー株式会社 代表取締役会長兼CEO</p> <p style="text-align: right;">11</p>
インターミッション 10分	
15:50 ~ 17:10 (80分)	<p>【基調講演】</p> <h2>人と自然と技術の共生</h2> <p>-人を育て、産業廃棄物を資源に変える-</p> <p>石坂 典子 石坂産業株式会社 代表取締役</p> <p style="text-align: right;">11</p>
インターミッション 10分	
17:20 ~ 18:20 (60分)	<p>【特別講演】</p> <h2>人を大切にする経営</h2> <p>-アリババと世界の最新FM情報-</p> <p>松岡 利昌 株式会社松岡総合研究所 代表取締役 日本オフィス学会 会長 JFMA理事</p> <p style="text-align: right;">12</p>
インターミッション 10分	
18:30 ~ 19:30 (60分)	<p>【初級FM講座】</p> <h2>FMの基本と実例</h2> <p>成田 一郎 JFMA専務理事</p> <p style="text-align: right;">12</p>

主催者講演



山田 匡通
JFMA会長

基調講演



松本 晃
元カルビー株式会社
代表取締役会長 兼 CEO

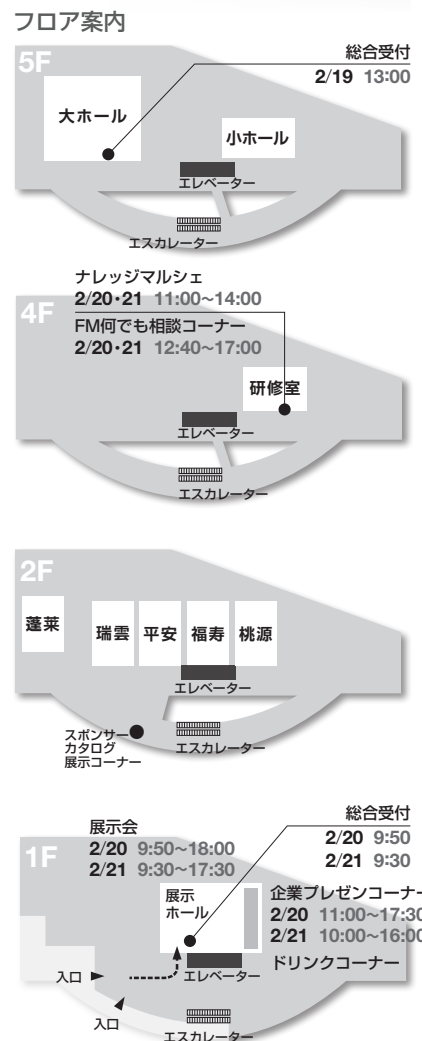


石坂 典子
石坂産業株式会社
代表取締役

特別講演



松岡 利昌
株式会社
松岡総合研究所
代表取締役



2/20日(木) セミナー・イベントスケジュール

9:30 ~ 9:50	オープニングセレモニー 1階 展示会場			
時間	大ホール			
10:20 ~ 11:40 (80分)	【基調講演】 自己肯定感と自信を育む力 柳沢 幸雄 <small>開成中学校・高等学校校長、東京大学名誉教授、 元ハーバード大学公衆衛生大学院環境健康学科准教授・併任教授</small> 13			
会場 会場 カテゴリ	小ホール	蓬 萊	瑞 雲	平 安
時間 区分	特別講演・JFMA賞	調査研究部会	リスク・防災	環 境
12:00 ~ 12:40 (40分)	【特別講演】 成功する組織のカギ:幸せ (Happiness) 島田 由香 <small>ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 取締役 人事総務本部長</small> 13	【品質評価手法研究部会】 <small>ファシリティの品質評価項目を考える</small> 野瀬 かつり <small>ファシリティマネジメント総合研究所</small> 16	<small>施設群の建物リスク対策完遂 マネジメント手法のご紹介</small> 梶原 恒平 北林 泰彰 <small>NTTファシリティーズ</small> 17	<small>これからの国内における フロン対策</small> 山本 隆幸 <small>日本冷媒・環境保全機構</small> 19
12:40 ~ 13:40 (60分)	昼休み 60分			12:50~13:30 【海外招待講演】 <small>ヨーロッパのFM動向と PLANON社の取組み</small> Ms.Julia Bar <small>オランダ・PLANON社</small>
13:40 ~ 14:20 (40分)	【特別講演】 令和をFMの時代に ー自治体経営に必要な不可欠な ファシリティマネジメントー 北川 正恭 <small>早稲田大学名誉教授 早稲田大学マニフェスト研究所顧問 元 三重県知事</small> 14	【FMプロジェクトマネジメント研究部会】 <small>「人」フォーカス時代の FMプロジェクトマネジメント</small> 穂積 義剛 菅野 誠 安田 晋也 亀田 真理子 16	<small>FMが担う 帰宅困難者対策と課題</small> 田中 純一 <small>ビル減災研究所</small> 18	<small>アスベスト対策の重要性と 最新の社会情勢</small> 宮崎 恒一 <small>エコ・24</small> 19
14:40 ~ 15:20 (40分)	JFMA 賞授賞式 準備	【FM財務評価手法研究部会】 <small>FM財務評価ハンドブックの 改訂について</small> 大山 信一 <small>三井住友建設</small> 16	<small>実戦的防災訓練の シナリオと進行のポイント</small> 上倉 秀之 <small>Facility Management 防災Lab</small> 18	<small>経営に寄与する「人のための3つの省」 省人化・省リスク・省エネ</small> 西片 一成 <small>高砂丸誠エンジニアリング サービス</small> 19
15:50 ~ 16:30 (40分)	JFMA 賞授賞式	【オフィス・ワークプレイスの知的生産性研究部会】 <small>ワークプレイスモデルSOFの アンケート調査結果</small> 坪本 裕之 首都大学東京 17 菅野 文恵 ゼロイン	<small>IT・IoTを活用した 施設・設備等の総合管理</small> 水谷 紀彦 <small>総合警備保障</small> 18	【特別講演】 <small>クリニックのチェーン化の実践 365日・夜間対応可能な診療体制の構築</small> 鶴谷 武親 <small>CAPS株式会社代表取締役社長 早稲田大学大学院客員教授</small> 20
16:50 ~ 17:30 (40分)	15:50 受付 16:10 開会	【こころからだのウェルビーイング研究部会】 <small>ウェルビーイングを生み出す ワークプレイスに関する調査(第一報)</small> 中家 良夫 内田洋行健康保険組合 17 大久保 玲生 パーソナルトレーナー	<small>ネットワーキング パーティ準備</small>	<small>インターミッション 30分</small>
18:00 ~ 20:00	ネットワーキング パーティ		JFMA 賞受賞祝賀会 18:30 ~ 20:00	

福 寿	桃 源
病院・グローバル	公共・プラットフォーム
CREテクノロジー	FM入門者のための「FM何でも相談コーナー」オリエンテーション
金子 志宗 ジョーンズラングラサル	JFMA教育研修委員会 川村 裕・金 英範 ほか

昼休み 60分	21
---------	----

病院シンポジウム 未来の病院を支える FMの考え方 病院FMと サービスマネジメントとの融合	FMプラットフォーム構築による 事業モデルの変革
<ul style="list-style-type: none"> 講演/パネリスト 堀 賢 順天堂大学 長澤 泰 工学院大学 東京大学 尾方 壮行 早稲田大学 理工学術院総合研究所 杉山 靖尚 清水建設 コーディネータ 和泉 隆 帝京大学 	仲宗根 満 イオンデベロッパー

インターミッション 30分	21
---------------	----

グローバル FM サミット 各国リーダーが語る グローバルFMの最新動向	公共FMシンポジウム 公共FMバトル 学×民×官
<ul style="list-style-type: none"> 講演/パネリスト Mr. John Carrillo 米国・IFMA 会長 Dr. Hyo Jin Yoon 韓国・KFMA 会長 Mr. Erik Jaspers オランダ・PLANON社ディレクター Mr. Gao Yan 中国・ベストスマート社 コーディネータ 松岡 利昌 松岡総合研究所 川村 正夫 JFMA 三島 佳名恵 大成建設 終了時間 17:45 	<ul style="list-style-type: none"> 講演/パネリスト 南 学 東洋大学 池澤 龍三 建築保全センター 宮谷 卓志 鳥取市 コーディネータ 高橋 康夫 群馬県建設技術センター 今岡 夕子 アジア航測

インターミッション 30分	22
---------------	----

インターミッション 30分	23
---------------	----

展示会場

企業プレゼン
11:00~11:30 エンゲージメントの 新しいスタンダード NSF エンゲージメント 41

インターミッション 10分
11:40~12:10 建設・FM分野における 3Dデジタルデータ技術の活用事例 構造計画研究所 41

インターミッション 10分
12:20~12:50 働き方をジザイに。 変わる!オフィスの在り方とは ザイマックス 42

インターミッション 10分
13:00~13:30 FM業界におけるIoTトレンドと、 今取り組むべきこと EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング 42

インターミッション 10分
13:40~14:10 経営ビジョンを実現する ビジョン指向型FM「Facility Dr.」 山下 PMC 42

インターミッション 10分
14:20~14:50 リノベーションを支える 技術と実績 日比谷総合設備 42

インターミッション 10分
15:00~15:30 弊社が展開する データサイエンス事業 プロパティデータバンク 43

インターミッション 10分
15:40~16:10 BIM・FM連携による効率的な 施設情報マネジメント FM システム 43

インターミッション 10分
16:20~16:50 メーター自動読み取り技術を用いた 省人化 高砂丸誠エンジニアリングサービス 43

インターミッション 10分
17:00~17:30 未来志向型のFM IoTを活用した時間戦略と気候変動対策 ウフル 43

基調講演



柳沢 幸雄
開成中学校・高等学校校長
東京大学名誉教授、
元ハーバード大学
公衆衛生大学院環境
健康学科准教授・併任教授

特別講演



島田 由香
ユニリーバ・ジャパン・
ホールディングス株式会社
取締役 人事総務本部長

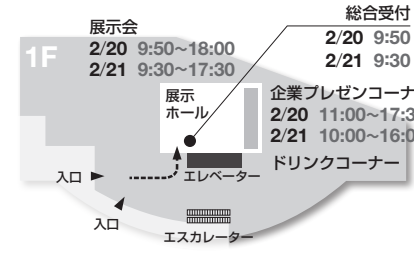
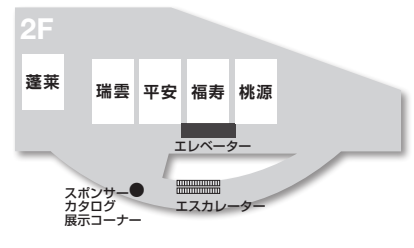
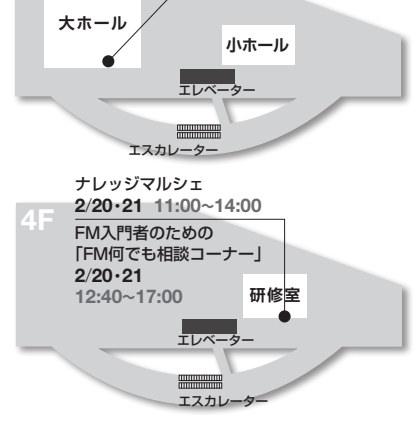


北川 正恭
早稲田大学名誉教授
早稲田大学
マニフェスト研究所顧問
元三重県知事



鶴谷 武親
CAPS株式会社
代表取締役社長
早稲田大学大学院客員教授

フロア案内 総合受付
2/19 13:00



受付開始 18:00~
参加費：5,000円(会員・非会員共、税込)

* 表記のセミナータイトル・講師等は変更になる場合があります。
最新の情報は、JFMAホームページにてご確認ください。
<http://www.jfma.or.jp/>

会場	小ホール	蓬 萊	瑞 雲	平 安
カテゴリー	特別講演・シンポ	調査研究部会	JFMA 賞受賞講演	公共・ICT・インフラ
10:00 ~ 10:40 (40分)	【特別講演】 デジタル・トランス フォーメーション(DX)の 本質 高木 聡一郎 東京大学大学院情報学環准教授	【FM戦略・企画研究部会】 都市の持続可能性・活性化とレジリエンス 高藤 真澄 NTTファシリティーズFMアシスト 塚田 敏彦 NTTファシリティーズ総合研究所 重富 賢太郎 Facility Conceptor 26	【最優秀FM賞】 (鶏澤賞) 持続可能な社会構築のための広域FM 神奈川県住宅供給公社の事例 神奈川県住宅供給公社 29	よくわかる! 公共建物の長寿命化 天神 良久 東洋大学 秋山 克己 日本メックス 33
		インターミッション 20分		
11:00 ~ 11:40 (40分)	【エネルギー環境保全マネジメント研究部会】 経営課題となった脱炭素・ 循環型社会・職場環境の動向 横山 健児 NTTファシリティーズ 26	【優秀FM賞】 消滅可能性都市が掲げる 持続可能な公園経営 東京都豊島区 30	公会計データの施設コスト 評価活用例 加藤 泰正 日本設計 33	
	インターミッション 20分			
12:00 ~ 12:40 (40分)	【特別講演】 テレワーク推進と ファシリティマネジメントの潮流 湯田 健一郎 東京テレワーク推進センター事業責任者 24	【CREマネジメント研究部会】 CREマネジメントで組織とワーカーを 活性化するノウハウについて 大野 晃敬 東京オペラシティビル 百嶋 徹 ニッセイ基礎研究所 27	【優秀FM賞】 全室個室病棟の 県立下呂温泉病院における FM実践活動 岐阜県立下呂温泉病院 30	FM価値を可視化する ワークテック最前線 岡田 大士郎 三幸エステート 33
12:40 ~ 13:40 (60分)	昼休み 60分			
13:40 ~ 14:20 (40分)	eコマースとFM シンポジウム eコマース時代の 商業施設のあり方を考える ●講演/パネリスト 栗原 弘一 森ビル 四方 基之 イオンデイライト 古橋 正浩 楽天 池澤 威郎 福山市立大学 千葉 友範 EYアドバイザリー・アンド・ コンサルティング ●コーディネータ 松岡 利昌 松岡総合研究所 25	【リスクマネジメント研究部会】 自然災害に対する施設リスク把握 上倉 秀之 Facility Management 防災Lab 27	【特別賞】 横浜中央郵便局別館における 施設暫定活用プロジェクトの取組み 日本郵便 アカツキライブエンターテインメント 31	オーナーと 現場をハッピーに! 柳 良和 住友セメントシステム開発 34
		インターミッション 20分		
14:40 ~ 15:20 (40分)		【運営維持手法研究部会】 運営維持の視点で 『ファシリティマネジャーを育てるヒント』 (初級者編) 吉瀬 茂 工学院大学 27	【技術賞】 自然の原音(周波数)を活用し、 空間の快適性を高める技術の開発 JVCケンウッド・ ビクターエンタテインメント 31	品質&安全確保のための 研修施設活用取組み 盛本 昌貴 柳澤 庸治 日本メックス 34
	インターミッション 30分			
15:50 ~ 16:30 (40分)	BIM・FMシンポジウム ファシリティマネジメントに BIMは有効か ●講演/パネリスト 田伏 翔一 国土交通省 木村 圭介 FMシステム 澤本 勇樹 アイスクウェアD ●コーディネータ 猪里 孝司 大成建設 天神 良久 東洋大学	【人と場へのFM投資価値研究部会】 「人と場」FMが創出する ウェルネス組織運営 岡田 大士郎 三幸エステート 28	【功績賞】 ブルースタジオ20年間の実践と書籍 「なぜ僕らは今、リノベーションを 考えるのか」:ビデオ講演 大島 芳彦 ブルースタジオ 32	インフラシンポジウム 「インフラ点検のすゝめ」出版記念シンポジウム 技術者は育てなければ育たない! ●講演/パネリスト 宮里 心一 金沢工業大学 植野 芳彦 富山市 松本 健 国土交通省 丸山 久一 長岡技術科学大学 田村 裕美 ソーシャルテクニカ 盛重 知也 西松建設 渡邊 大介 ガイアート 岩佐 宏一 アイセイ ●コーディネータ 中川 均 ガイアート 35
		インターミッション 20分		
16:50 ~ 17:30 (40分)		【キャンパスFM研究部会】 私立大学の財務支援における FMの在り方 藤村 達雄 東京音楽大学 28	【功績賞】 ビルメンテナンスの記録に基づく 故障・不具合に関する一連の研究 故障・不具合に関わる 研究グループ 32	

福寿	桃源	展示会場
SDGs・WELL	働き方改革・イノベーション	企業プレゼン
健康経営・WELL シンポジウム 人フォーカス時代の 健康経営・ウェルビーイング・ 働き方改革 ●講演/パネリスト 浅野 健一郎 フジクラ健康社会研究所 似内 志朗 ファシリティデザインラボ 高原 良 イトーキ ●コーディネータ 齋藤 敦子 コクヨ	チームビルディングとしての オフィスづくり 八塚 裕太郎 ヒトカラメディア	10:00~10:30 BIM-FMの仕組み概要を解説 福井コンピュータアーキテクト
36	38	44
インターミッション 20分	インターミッション 20分	インターミッション 10分
JFMA欧州3国FM視察調査団 報告 似内 志朗 ファシリティデザインラボ	企業資産価値を最大化する FMプラットフォーム海外事例 ご紹介 Dennis Cheng ARCHBUS Inc.	10:40~11:10 常に進化し続けるワークプレイスを目指して 三菱地所
36	39	44
昼休み 60分		インターミッション 10分
SDGs シンポジウム SDGsで社会・FMは どのように変わるのか ●講演/パネリスト 吉田 綾 外務省国際協力局 山田 太雲 デロイトトーマツ コンサルティング 牧 貞夫 NTT 都市開発 齋藤 敦子 コクヨ ●コーディネータ 似内 志朗 ファシリティ デザインラボ	FMイノベーションの 取組み 横山 淳 JR東日本ビルテック	11:20~11:50 コミュニケーション可視化による シミズのワークプレイスづくり 清水建設
37	39	44
インターミッション 30分	インターミッション 20分	インターミッション 10分
SDGsに関する FM手法の思考 安藤 秀徳 森下 克也	ネクサス・コモンズ イノベーションを超える 創生空間の創り方 前田 明洋	12:00~12:40 FM入門者のための 「FM何でも相談コーナー」 オリエンテーション JFMA教育研修委員会 川村 裕・金 英範
37	40	44
インターミッション 20分	インターミッション 20分	インターミッション 10分
WELL・ZEBの 相乗効果が見える10の方法 丸山 玄 大成建設	ワーカーが幸せに働ける環境とは? フレキシブルワークプレイスという 選択肢 石崎 真弓 ザイマックス不動産総合研究所	12:50~13:20 ICTを活用した 維持管理業務の展開 日本メックス
38	40	44
		インターミッション 10分
		13:30~14:00 働き方改革 (パーバレス~オフィス構築) イトーキ
		45
		インターミッション 10分
		14:10~14:40 実践!大成建設のFMは ウェルネスを進化させる 大成建設
		45
		インターミッション 10分
		14:50~15:20 建物維持管理情報の活用と その蓄積手法 住友セメントシステム開発
		45
		インターミッション 10分
		15:30~16:00 大災害時代における FM企業の担うべき使命 イオンディライト
		45

特別講演

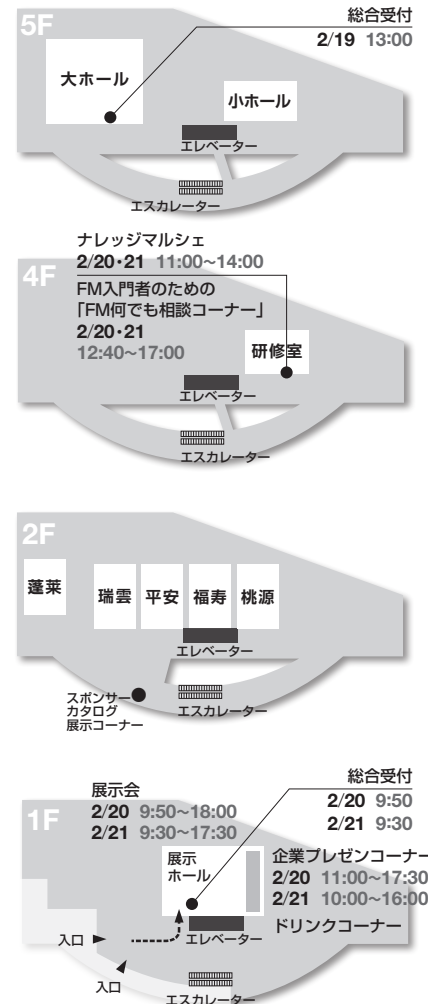


高木 聡一郎
東京大学
大学院情報学環准教授



湯田 健一郎
東京テレワーク
推進センター事業責任者

フロア案内

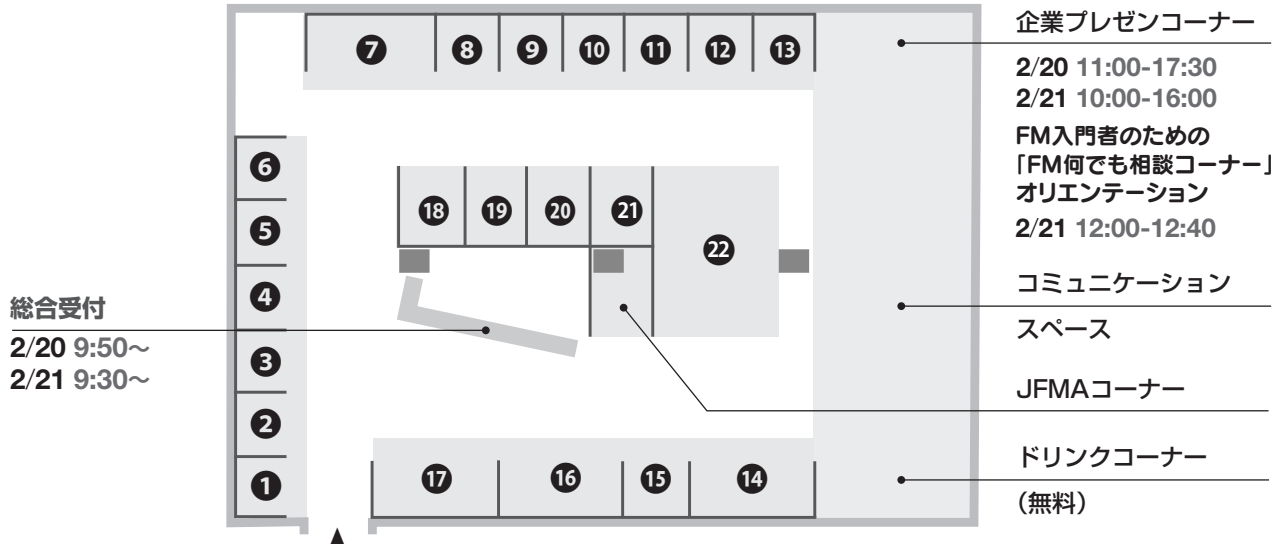


展示会 46~53

2月20日(木) オープニングセレモニー
9:30- 9:50
開催 9:50-18:00

2月21日(金) 開催 9:30-17:30

1F 展示ホール



総合受付
2/20 9:50~
2/21 9:30~

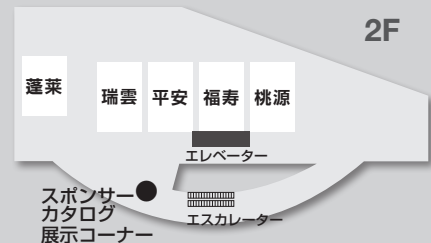
企業プレゼンコーナー
2/20 11:00-17:30
2/21 10:00-16:00
FM入門者のための
「FM何でも相談コーナー」
オリエンテーション
2/21 12:00-12:40
コミュニケーション
スペース
JFMAコーナー
ドリンクコーナー
(無料)

1 アット・ファシリティラボ株式会社	9 プロパティデータバンク株式会社	18 株式会社ユニティ
2 株式会社 FMシステム	10 日比谷総合設備株式会社	19 日本メックス株式会社
3 福井コンピュータアーキテクト株式会社	11 セイキ工業株式会社	20 株式会社ウフル
4 株式会社アプトシステム	12 JR東日本ビルテック株式会社	21 株式会社ぶんぶく
5 株式会社ディー・サイン プレイスマネジメント研究所	13 株式会社山下 PMC	株式会社イトーキ
6 株式会社 NTTファシリティーズ	14 株式会社アイスクウェアD	22 株式会社内田洋行
7 大成建設株式会社	15 株式会社スターメンテナンスサポート	株式会社オカムラ
8 株式会社エコ・24	16 シバタ工業株式会社	コクヨ株式会社
	17 住友セメントシステム開発株式会社	

カタログ展示コーナー 会場: 2F ロビー

カタログ展示企業・団体紹介 (50音順)

ARCHBUS Inc.	株式会社竹中工務店
イオンディライト株式会社	日本メックス株式会社
株式会社イトーキ	日比谷総合設備株式会社
株式会社内田洋行	福井コンピュータアーキテクト株式会社
株式会社 NTTファシリティーズ	株式会社山下 PMC
株式会社 FMシステム	株式会社ビケンテクノ
住友セメントシステム開発株式会社	株式会社ウフル
大成建設株式会社	株式会社構造計画研究所
プロパティデータバンク株式会社	株式会社コンステックホールディングス
コクヨ株式会社	ジョーンズラングラサール株式会社
三機工業株式会社	株式会社スターメンテナンスサポート
高砂熱学工業株式会社	大星ビル管理株式会社
高砂丸誠エンジニアリングサービス株式会社	ダイダン株式会社



ファシリティマネジメント
フォーラム 2020

FACILITY MANAGEMENT FORUM 2020

第14回 日本ファシリティマネジメント大会

Lecture & Seminar

CONTENTS

2/19日(水) **10**~**12**

/20日(木) **13**~**23**

/21日(金) **24**~**40**

5F 大ホール

主催者講演

13:30 ~ 14:10

テーマ **こころの時代**

公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会

会長 **山田 匡通**

グローバル化した政治経済情勢が目まぐるしく変転し、AI、IoT等急速に進行する技術革新によって人々の生き方、働き方、そして働く環境に大きな変革が生じつつあるこの時代において、我々はどのような考え方を持ってこの変動、変革に対応するべきなのか。

激動、激変の時代に動かぬ価値というものがあるのか。ファシリティマネジメントは其中でどのように位置づけられるのか。「こころ」を追求することがこの問題の解く鍵ではないか。

プロフィール 株式会社イトーキ代表取締役会長、1940年満州生まれ。1964年慶應義塾大学卒業、株式会社三菱銀行入行、1969年ハーバード大学経営学部大学院修了(MBA)、1995年株式会社三菱銀行常務取締役就任、1996年株式会社東京三菱銀行常務取締役就任、2000年専務取締役就任、2002年三菱証券株式会社代表取締役会長就任、2004年東京急行電鉄株式会社常勤監査役、2005年株式会社イトーキ取締役就任、2015年6月より公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会会長。

5F 大ホール

基調講演

14:20 ~ 15:40

テーマ Our Business is People Business

元カルビー株式会社
代表取締役会長兼 CEO

— 人間は環境の動物である —

松本 晃

かつて、日本は“Japan as No. 1”と世界から驚異の眼で見られた。しかし、“Party was Over”、それは東西冷戦の終結を以ってあつけなく終わった。世界の工業製品の生産基地は先ず韓国・台湾・香港・シンガポールに移動した。1990年代前半日本の繁栄はそれなりに保たれていたが、13億人の人口を抱える中国の登場をもって、多くの産業の息の根は止まった。

変わらなければ生きていけない。変化しよう、さもなければ死ぬ。“Change, or Die”だ。会社もチームも、組織はいつも成果を求める。ならば、変革しないといけない。もっと多様化しよう。女性の活躍も成長には必須だ。働き方の改革ももっと大胆に進めなければ…。オフィスもその施設・設備・環境も旧態依然のモノから新しいアイデア・新しいビジネス・イノベーションを生むモノに変えなければならない。オフィスは「知恵を生み出す場」である。ただの作業場ではない。日本式オフィスは捨てよう。オフィスは、企業からのメッセージでもある。新しい輝かしい日本を創ろう。「人間は環境の動物」だ。先ずその環境作りと制度を整えるところからが再出発ではなからうか？

プロフィール 1947年7月京都府生まれ。京都大学大学院農学部修士課程。1972年伊藤忠商事入社、1986年伊藤忠商事子会社センチュリーメディカル 取締役営業本部長就任。1993年ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人入社 代表取締役社長、会長、最高顧問を歴任。2008年カルビー株式会社 顧問、取締役、代表取締役会長兼CEOなど歴任。2018年6月RIZAPグループ株式会社 代表取締役COO。現在各社社外取締役など多数。

基調講演

15:50 ~ 17:10

テーマ 人と自然と技術の共生

石坂産業株式会社

— 人を育て、産業廃棄物を資源に変える —

代表取締役 石坂 典子

きつい、汚い、危険の「3K」の業界だというイメージの根強い産業廃棄物処理業界。

その中で、地域と共生し、社員が生き生きと幸せに働く会社として、第二回ホワイト企業大賞を受賞したほか、書籍などで多数取り上げられている石坂産業。

モチベーションを高め、本来持っている能力を最大限に発揮して自発的に課題に取り組む人材を育成するために行っている取り組みについて、お話しいたします。

廃棄物処理はモノのライフサイクルの最後にあたる部分です。モノを作る時に廃棄される時のことまで考えて設計されるということが、これからSDGsを達成し、循環型社会を作っていく上でますます重要となります。

近年、マイクロプラスチック問題をはじめとして、廃棄物は世界問題になっています。

それを解決していくために行っている活動についても、あわせてお話しいたします。

プロフィール 1972年東京都生まれ。高校卒業後、米国の大学に短期留学。1992年父親が創業した石坂産業に入社。埼玉県所沢市周辺の農作物がダイオキシンで汚染されているとの報道を機に、「私が会社を変える」と父親に直談判し、2002年社長就任。「社員が自分の子供も働かせたい」と言える企業創りを目指し、女性の感性と斬新な知性で産業廃棄物業界を変革する経営に取組み“見える・五感・ISO経営”に挑戦している。2016年日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2016・情熱経営者賞」他多数受賞。

5F 大ホール

特別講演

17:20 ~ 18:20

テーマ **人を大切にする経営**
—アリババと世界の最新FM情報—

日本オフィス学会 会長
JFMA理事 ISOFM専門委員

株式会社松岡総合研究所

代表取締役 **松岡 利昌**

ファシリティマネジメントの本質は、働く人のパフォーマンスを最大化するために、「施設とその環境」を経営に役立てることである。働き方改革が問われる日本でも、守りの効率経営から攻めの経営へ、つまりイノベーションを起こす経営への変換が求められている。イノベーションの源泉は人。つまり、そこに「働きがいがあるか」が鍵になる。

わずか20年で世界的企業に成長した、阿里巴巴集団（通称アリババ）は、ジャック・マー元CEOが作り上げた世界屈指のECビジネスモデルである。Ding TalkというTechツールで全ての社員がつながり、彼らを効率的にバックアップする仕組みのなかで、どうやってイノベーターが生まれてきたのか。そのなかで、ファシリティはどのような役割を果たしてきたのか。米国や日本のビジネスモデルと中国のビジネスモデルを比較しながら、成功の要因を探る。

プロフィール 株式会社松岡総合研究所 代表取締役。慶応義塾大学、米国ハーバード大学留学を経て、慶応義塾大学大学院修士課程修了（MBA取得）後、外資系コンサルタント会社で活躍し、1991年より独立。名古屋大学大学院准教授等を歴任。日本オフィス学会 会長、JFMA理事。

初級FM講座

18:30 ~ 19:30

テーマ **FMの基本と実例**

JFMA専務理事 **成田 一郎**

ファシリティマネジメント（FM）をこれから学ぼうとする方、FMについての知識は少々あるが、何かスッキリしないと思われる方のための初級FM講座です。

FMとは何かから始まり、FMの全体像をつかみ、FMと経営との関係、FMのミッション、マネジメントとは、FMを進めるためにまず第一にやることは何か、FMを進めるステップ、ファシリティのライフサイクルを通してマネジメントすることの大切さ、戦略的にマネジメントする方法、つくる側と使う側の考え方の違い、利用者（ユーザー）の立場で考える大切さ、FMを進めるためのコツ等々、FMの基本と本質をお話しさせていただきます。

さらに、日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）の代表的事例を通して、FMの具体的展開方法やFMを進めるコツ、その魅力などについてご紹介させていただきます。

講座は18時30分からです。業務終了後にでもお立ち寄りいただければ幸いです。きっとFMが好きになっていただけたらと思います。

5F 大ホール

基調講演

10:20 ~ 11:40

テーマ 自己肯定感と自信を育む力

開成中学校・高等学校校長、東京大学名誉教授
元ハーバード大学公衆衛生大学院
環境健康学科准教授・併任教授

柳沢 幸雄

内閣府は「我が国と諸外国の若者の意識調査」を毎年行っています。その中で世界7カ国の13歳から29歳男女へ自己肯定感に関する「自分自身に満足していますか」という問いに、「そう思う・どちらかといえばそう思う」と答えた若者は日本では45.1%、ほかの6カ国のうちアメリカ、イギリス、フランス、ドイツは80%、残りのスウェーデン、韓国も70%を超えており、日本だけが特に低い結果となりました。

さらに自信に関して「自分には長所があると感じているか」という問いにも同様の傾向が見られ、日本の若者の自己肯定感、自信の低さが際立っています。

子供は大人の鏡であり、自己肯定感、自信が持てない若者が多いと言う事は、大人の自己認識の反映であり、日本の労働生産性の低さの一因とも考えられます。大人世代が自分の責任で発言せず、周囲に倣おうとする世界が、子供の世界に拡大再生産しています。

本講演では、自由闊達な開成での教育を紹介し、「人フォーカスの時代」において、未来に向けた大人・子供それぞれの世代での自己肯定感と自信を育む力についてお話します。

プロフィール 1947年生まれ。開成中学校・高等学校、東京大学工学部化学工学科卒業。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了(工学博士)。シックハウス症候群・化学物質過敏症研究の第一人者。ハーバード大学大学院准教授・併任教授、東京大学大学院教授を経て、2012年から東京大学名誉教授。2011年母校の開成中学校・高等学校校長に就任。

5F 小ホール

特別講演

12:00 ~ 12:40

テーマ 成功する組織のカギ： 幸せ(Happiness)

ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社
取締役 人事総務本部長

島田 由香

生産性という言葉が嫌いです。「生産性をあげろ」と言われてヤル気とエネルギーが湧く人なんて見たことがありません。なぜ生産性を高めたいのかを考えたとき、フォーカスするのはアウトプットの量・質ではなく、インプットそのものである人であるべきです。人フォーカスの時代。私たちが出す結果は、私たちの状態 (being) に大きく左右されます。その私たちが幸せであるかどうかはとても大切な経営視点です。いまや幸せな人はパフォーマンスが高いこと、幸せな人が多い組織は業績が良いことは科学的に証明されています。幸せ、とは何なのか、幸せだとパフォーマンスが向上するのはなぜなのか、私たちはどうしたら幸せなのか、についてお話します。何言ってるの?!と思った方こそいらしてください。

プロフィール 慶応義塾大学総合政策学部(SFC)卒業後、パソナ入社。その後、米国コロロンビア大学大学院に留学。2002年に組織心理学修士を取得後、GEに入社。2008年にユニリーバ・ジャパン入社。2014年より現職。

5F 小ホール

特別講演

13:40 ~ 15:00

テーマ **令和をFMの時代に**
—自治体経営に不可欠な
ファシリティマネジメント—

JFMA賞審査委員長、早稲田大学名誉教授

早稲田大学マニフェスト研究所顧問

北川 正恭

国会議員時代から地方分権を推進し、三重県知事時代には、ファシリティマネジメント（FM）に着目し、県東京事務所にフリーアドレスを導入。2004年に早稲田大学マニフェスト研究所を設立し、マニフェストを広め、地方創生を進められたJFMA賞の審査委員長でもある北川正恭氏に、自治体経営とFMの役割についてご講演いただきます。

地方創生の担い手を育成する必要性、固定観念や思い込みといったドミナントロジックを打破するために職員と徹底して話し合うことの意義、その中で、ファシリティは重要な経営資源であること、管理から経営へのパラダイムシフトしていることについてお話しいただきます。

総務省から2014年4月に公共施設等総合管理計画の要請が出され、各自治体は公共施設を経営資源ととらえ、再配置に取り組んでいる内容や公務員の働き方改革の必要性についてもお話しいただきます。

プロフィール 1944年生まれ。1967年早稲田大学第一商学部卒業。1972年三重県議会議員当選（3期連続）、1983年衆議院議員当選（4期連続）。1995年、三重県知事当選（2期連続）。2003年4月より早稲田大学政治経済学術院教授。2015年3月に退任。現在、早稲田大学名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所顧問。

5F 小ホール

JFMA賞授賞式

16:10 ~ 18:00

第14回 日本ファシリティマネジメント大賞-JFMA賞

受賞祝賀会 2/20(木) 18:30~20:00 2F 瑞雲の間

講演 2/21(金) 10:00~17:30 2F 瑞雲の間

00: 概要紹介ページ

● 最優秀ファシリティマネジメント賞(鶴澤賞)

持続可能な社会構築のための広域FM
神奈川県住宅供給公社の事例

神奈川県住宅供給公社 (神奈川県)

株式会社オービック、株式会社フューチャーネットワークス、一般社団法人かながわ土地建物保全協会

29

〈表記凡例〉 応募タイトル
FM実践組織
サービス提供者

● 優秀ファシリティマネジメント賞

消滅可能性都市が掲げる
持続可能な公園経営

東京都豊島区

南池袋公園をよくする会、株式会社ランドスケープ・プラス

30

● 功績賞

ビルメンテナンスの記録に基づく
故障・不具合に関する一連の研究
故障・不具合に関わる研究グループ

代表 高草木明

須藤美音、千明 聡明、小松 正佳、大澤 昌志、丹羽 涼介

32

● 優秀ファシリティマネジメント賞

全室個室病棟の県立下呂温泉病院
におけるFM実践活動

地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院 (岐阜県下呂市)

株式会社安井建築設計事務所

三重大学 教授 加藤 彰一、名古屋大学 名誉教授 谷口 元

30

● 奨励賞

盛岡市における公共施設マネジメントの実践と成果
岩手県盛岡市

● 特別賞

横浜中央郵便局別館における
施設暫定活用プロジェクトの取組み

日本郵便株式会社

株式会社アカツキライブエンターテインメント (神奈川県横浜市)

株式会社コスモスモア、株式会社ヒトバデザイン

株式会社伊藤木材設計室

31

● 奨励賞

長崎県新庁舎におけるFM戦略
-つながる働き方の本格展開へ-

長崎県

株式会社イトーキ、日建設計・松林建築設計事務所・池田設計JV

ジョンソンコントロールズ株式会社

● 技術賞

自然の原音(周波数)を活用し、
空間の快適性を高める技術の開発
株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

31

● 奨励賞

公民連携で進めるFM -公共資産を活かしたまちづくり-
茨城県常総市

株式会社センスタイムジャパン

特定非営利活動法人日本PFI・PPP協会

● 功績賞

ブルースタジオ20年間の実践と書籍
「なぜ僕らは今、リノベーションを考えるのか」
大島芳彦 (株式会社ブルースタジオ)

32

● 奨励賞

FM視点でのワークプレイス改革
-NEW OFFICE建設-

三菱自動車工業株式会社

(愛知県岡崎市/本社:東京都港区)

株式会社竹中工務店

● 功績賞

公共施設屋外における
パブリックスペイシャルFMに
関する研究 (博士論文)

湯浅かさね (千葉大学大学院 博士研究員)

● 奨励賞

「マイナス」から「プラス」を生み出せ
マイナス入札制度の確立

埼玉県深谷市

2F 蓬 菜

2F 蓬 菜

12:00 ~ 12:40

●品質評価手法研究部会

ファシリティの品質評価項目を考える

ファシリティマネジメント総合研究所 代表

部会長 野瀬かおり

当部会では本年度より、平成の時代を10年ごとに区切り、世の中の変化とそこで求められてきたファシリティの品質項目について、当部会で使っている7つの評価軸（安全性・信頼性、快適性・機能性、耐用性・保水性、環境保全性、心理配慮性、

多様性、社会性・品格性）を使って分析を進めている。また、そこから予想されるこれからの世の中に必要とされるファシリティの品質について、考察を進めている。

今回の発表では、それらの途中経過を報告する。

2F 蓬 菜

13:40 ~ 14:20

●FMプロジェクトマネジメント研究部会

「人」フォーカス時代の
FMプロジェクトマネジメント

株式会社内田洋行

知的生産性研究所部長 穂積 義剛

三幸エステート株式会社 営業推進部

ワークプレイス戦略室 総務 FM ディレクター 菅野 誠

アクセンチュア株式会社

総務部 安田 晋也

FMプロジェクトマネジメント研究部会は今年度、少子高齢化・グローバル化・ICTの進化・価値観の多様化など経営者や働く人を取り巻く外部環境が著しく変化する中、「新たな価値創造」に向けて取り組むワークプレイスの創り方、プロジェクトマネジメントスタイルについてSDGsの視点を取り入れ学習研究を重ねて参りました。

SDGs17の目標の中でも特にファシリティで解決出来そうな7つの目標を取り上げ、今年度はウェルビーイングとエンゲージメントにフォーカスし、プロジェクトマネジメントのスタイルに与える影響を整理致しましたので今年度の活動の総括としてご報告を致します。

2F 蓬 菜

14:40 ~ 15:20

●FM財務評価手法研究部会

FM財務評価ハンドブックの
改訂について

三井住友建設株式会社・サステナビリティ推進部・部長

部会長 大山 信一

1999年に初版が発行された「FM財務評価ハンドブック」は、その後2003年、2009年に改訂されてきた。今回は「公式ガイドファシリティマネジメント」に合わせて内容を見直し改訂するものである。

①第1章は「経営とFMの財務評価」、及び第2章以降の内容を理解するために必要な「FM財務評価の基礎知識」を解説する。

②第2章は「ファシリティコスト評価」について解説する。

③第3章は「施設資産評価」について解説する。

④第4章は「施設投資評価」について解説する。

⑤第5章は「ライフサイクルコスト評価」について解説する。

2F 蓬 菜

15:50 ~ 16:30

●オフィス・ワークプレイスの知的生産性研究部会

ワークプレイスモデルSOFの アンケート調査結果

首都大学東京・都市環境学部地理学教室 助教 **坪本 裕之**
株式会社ゼロイン 顧問 **菅野 文恵**

当研究部会では、ワークプレイスの重要なテーマである知的生産性の向上を軸に、ワークプレイスの戦略を立案し、場の構築や運営進化を可能にするツール「SOFモデル」の開発を継続して行っている。SOFモデルはワークスタイル・組織・ファシリティに関わる項目群で構成され、知的生産性向上に対する重要度と達成度の評価を把握できる。モデルの完成に向けて、2018年から2019年にかけては、ワークプレイスの改善を実施したA社を

対象としてSOF 50項目に関連するアンケート調査を施策の前後で試行し、回答をワーカーの属性に起因する認識の差や施策の効果に着目して分析した。その結果、職層や在職年数などの属性に基づく評価の差や施策後の「達成度」評価の向上、さらに項目相互の関連性についての知見を得られた。今回のフォーラムでは、一連の調査の結果とSOFモデルの活用方法、今後の研究に関する方向性について発表する。

2F 蓬 菜

16:50 ~ 17:30

●こころとからだのウェルビーイング研究部会

ウェルビーイングを生み出す ワークプレイスに関する調査（第一報）

中家 良夫 内田洋行健康保険組合
大久保 玲生 パーソナルトレーナー

本研究部会では、人がイキイキと健康的に過ごせるウェルビーイングなファシリティの在り方を研究し、それらを社会に広げていく為の活動を行っています。2019年12月からはビジネスパーソンやワークプレイスを研究ターゲットとして、「ウェルビーイングに働く人」や「ウェルビーイングなワークプレイス構築に携わる方」へのヒアリング調査を開始。それらの人たちの価値観や取り組みから、ウェルビーイングなワークプレイ

スづくりのヒント（ハード環境だけでなく、運用や制度などのソフト要素も含む）を抽出し、ウェルビーイングを生み出すためのファシリティマネジメント手法の構築を目指した研究を行っています。本講演は、調査の第一報として、ヒアリング手法の紹介やいくつかの調査事例の報告、そしてそこから見えてきたウェルビーイングなワークプレイス構築のためのヒントについてご紹介いたします。

2F 瑞 雲

2F 瑞 雲

12:00 ~ 12:40

リスク・防災

施設群の建物リスク対策完遂 マネジメント手法のご紹介

株式会社 NTTファシリティーズ

O&M事業本部 NTTO&M部 FMコンサルセンタ **梶原 恒平**O&M事業本部 NTTO&M部 FMコンサルセンタ所長 **北林 泰彰**

施設群を保有する組織体の施設管理担当者にとって、膨大な施設群の経年劣化や法改正対応、相次ぐ設備EOL事象等に対し、適切に建物の整備計画を立案、実施し、建物を健全な状態に保つ事は容易な事ではありません。近年増加傾向にある自然災害等により建物リスク対策を完遂することへの要求は高まっています。また、関連業務の効率化も同時に求められます。

本発表では、お客様の保有する施設群に対する整備計画提案業務（点検・対策提案・予算化・実行）の標準化、建物データベースの構築・運用、それら全体に通じた建物リスク対策完遂マネジメント手法の事例についてご紹介いたします。また、建物リスク解消を進めるには、建物の残存リスクを見える化しその状況を意思決定者に訴求することが重要です。そのためのレポート事例についてもご紹介いたします。

2F 瑞雲

13:40 ~ 14:20

リスク・防災

FMが担う帰宅困難者対策と課題

一般社団法人ビル減災研究所

代表理事 田中 純一

帰宅困難者対策の柱は、帰宅抑制と行き場のない帰宅困難者を収容する一時滞在施設の確保の2点である。

帰宅抑制については、FMとの関連が直接的でないように見えるかもしれない。しかし帰宅困難者対策として都条例が示す事業者の責務には、帰宅抑制、飲食物等の備蓄、施設の安全確保等があり、帰宅抑制を支える施設の安全確保や被災度判定にはFMの関与が不可欠である。職場に昼夜留まる場合の室内環境の確保も同様である。飲食物等の備蓄では倉庫の確保やその分散配置が求められると思われ、平時のFMの業務となる。

一時滞在施設の確保については、FMとの接点を認識しや

すいと思われる。ビルのロビーなど共用部分を一時滞在施設として提供する場合、自社ビルであれば所有者のFMの守備範囲となるが、賃貸ビルの場合、ロビーに関してテナントのFMの関与は限定的である。ロビーの運用に関与するFMはどのような点に注意を払って平時の準備、被災時対応をするべきかを示したい。ロビーなどを提供する場合に、所有者の負う損害賠償責任を懸念する指摘については、その問題を巡る近時の動向も紹介する。

最近の調査研究結果を平易にFMの実務家にお伝えし、共に考えたい。

2F 瑞雲

14:40 ~ 15:20

リスク・防災

実戦的防災訓練のシナリオと進行のポイント

Facility Management防災Lab

代表 上倉 秀之

地震や風水害等の自然災害を想定した防災訓練・災害対応訓練を行う際には、訓練目的を明確にするとともに自施設・自社の状況に即した訓練の状況設定が重要となる。

近年の災害事例を鑑みると、もはや消防訓練の延長での「避難・初期消火・AED」では地震や風水害対応としては不十分であり、より実戦的なシナリオが不可欠となってきている。

本セミナーでは、訓練シナリオの作成のポイントと訓練進行の留意点を事例をもとに解説し、より実戦的な訓練を行うためのノウハウを習得していただく内容とした。

また、FM部門初心者の方にもわかりやすい災対訓練シナリオサンプルを参加者に配布しセミナーの理解を一層深めていただく。

2F 瑞雲

15:50 ~ 16:30

リスク・防災

IT・IoTを活用した施設・設備等の総合管理

総合警備保障株式会社

常務執行役員 水谷 紀彦

常駐警備、イベント警備における労働集約的な環境が第一の課題。

『人工知能やロボット等による代替可能性が高い100種の職業』の中でも代替される可能性が高いとされている警備業務。実際、警備員の有効求人倍率は8.65倍となっており、警備業全体の人手不足は明らかである。

ALSOKは、警備ロボットはもちろん、4Kや5GをベースにしたIoTデバイスによる、社会全体に警備網を広げるゾーンセキュリティマネジメントの実現に向けて動き出している。

本講演では、IT・IoTなどの最新技術を活用した新しいファシリティマネジメントの実現に向けて、弊社の取り組み状況について紹介する。

2F 平 安

2F 平 安

12:00 ~ 12:40

環境

これからの国内におけるフロン対策

一般財団法人日本冷媒・環境保全機構

企画・調査部 担当部長 **山本 隆幸**

20世紀最大の発明と言われた「フロン」は、オゾン層の破壊で世の中に知れ渡りました。

1987年モントリオール議定書により、CFC、HCFCの削減が国際的に問題となりまりました。CFCは先進国では、1996年に全廃、HCFCの段階的削減を経て2020年には全廃となりました。そのような環境下で、機器は運転しており、フロンを充填して運転しております。2019年の6月に、従前の法律の改正法が公布さ

れ、2020年4月より施行となっております。この改正法に至る原因は、フロンの回収率が、国が閣議決定をした、2020年に50%の目標値を達成できないと思われ、2018年は39%。

そこで今回の改正法では、「直罰」を導入して厳格な対応で臨む国の本気度が伺えます。温暖化防止の一環としての、フロン対策は、今後に多くの問題を提起していると思われまので、現状認識をこの機会にさせていただき、一緒に考えてまいりたいと思います。

2F 平 安

13:40 ~ 14:20

環境

アスベスト対策の重要性と最新の社会情勢

株式会社エコ・24

専務取締役 **宮崎 恒一**

今年度（令和2年）より、環境省の大気汚染防止法が規制強化される方針となっている。これまで規制対象外であったレベル3建材が規制対象になり、アスベスト有無の事前調査は義務化され、建材調査は有資格の専門家が、完了検査の強化、罰則強化も予定されているという。さらに厚生労働省も呼応するかのように規制強化を検討しているという。2006年以前に建てられた建物はすべて対象となることから、建物のオーナーで

ある「発注者」の責任とコスト負担はさらに増加することになる。

アスベスト処理に関する対策の優先順位がもはや「安く、早く」から、厳正に調査した上で如何に近隣住民やテナント、関係者への説明責任が果たせる「安全」な対策を講じるかが重要となっている。こうした厳しい社会情勢の中、アスベストを取らずに封じ込め、しかも施設の稼働を止めない対策を実施する自治体や企業の先進的事例を紹介する。

2F 平 安

14:40 ~ 15:20

環境

経営に寄与する“人のための3つの省”
省人化・省リスク・省エネ

高砂丸誠エンジニアリングサービス株式会社

執行役員営業本部長 **西片 一成**

設備管理に求められることは、安定稼働を前提とした保全・修繕費用の低減や省エネルギーです。しかし、現状として人材不足で技術の継承が思うように進まずに技術者が育っていないことから、自社による設備管理が益々難しくなっている。同時にアウトソースを検討する企業が増えている。

そこで当社では、これまで培ってきたノウハウによって、「省人化」「省リスク」「省エネ」の3つの視点で“人に関する経営課題を解決する手法を整備し取り組んでいますので、具体的な内

容を説明いたします。

3つの省”の取り組み事例紹介

①省人化；メーター自動読み取り技術により目視巡回をゼロにする取り組み

②省リスク；設備情報管理（機器履歴の活用）

③省エネ；クラウド型エネルギー分析によるチューニング

※実施による効果事例についても説明します。

2F 平 安

特別講演

15:50 ~ 16:30

テーマ クリニックの
チェーン化の実践

— 365日・夜間対応可能な診療体制の構築 —

CAPS株式会社代表取締役社長
早稲田大学大学院客員教授

鶴谷 武親

「変化と革新」が繰り返されている社会の中で、私は一貫して、教育・IT・コンテンツを切り口に企業活動や社会活動を展開してきました。

CAPS株式会社では、年間20万件に及ぶ豊富な診療実績を通じて培った、クリニック運営に関する実践的なマネジメントシステム及びノウハウを「プライマリケア・クリニックチェーンマネジメント」として構築・提供しています。

現在、医療法人社団ナイズが運営する365日・年中無休のプライマリケア・クリニック「キャップスクリニック」に本サービスを提供しており、東京、千葉及び神奈川の8つのクリニックで、建物・設備の賃貸などFM業務も含めた支援を行っています。

日頃、早稲田大学でクリティカルシンキングやイノベーションに関する講義を行っていますが、ここでは医療向けイノベーションの実践事例としてお話いたします。

プロフィール 1990年、大学卒業後セコム株式会社に入社、1995年以降、複数企業の創業に参画し、現在に至る。2005年以降、早稲田大学大学院で教鞭をとる。2014年にCAPS株式会社を設立。

2F 福 寿

2F 福 寿

12:00 ~ 12:40

グローバル

CREテクノロジー

ジョーンズラングラサル株式会社
テクノロジー、データ&インフォメーションマネジメント部
ビジネステクノロジー ディレクター **金子 志宗**

センサーを用いて計測したデータをネットワークを通じて集めて分析することにより、さまざまな事象が見えるようになる。今回は人感センサーを用いたオフィスの利用率調査に関して、実例を交えて紹介する。

1. IoT 機器をどう利用するか
2. 各執務室の利用に関して
3. 会議室利用に関して
4. 利用率を把握したあとのアクション
5. 利用率調査とは異なるセンサーの利用

2F 福 寿

13:40 ~ 15:20

病院

病院FMシンポジウム

未来の病院を支えるFMの考え方

— 病院FMとサービスマネジメントとの融合 —

順天堂大学はトップクラスの医療大学としてますます輝きを増している。

質の高い医療サービス、数多い名医、新しい病院施設群、だがそれだけであろうか？

そこにはそれらを結びつける布石があった。

新病院の計画段階から医療の現場のニーズをFMへとつなげた感染制御科学の教授がいた。

未来の病院では、デジタルトランスフォーメーション（DX）の流れの中変化する、多様で高度なニーズこたえなければ

ならない。FMだけでは、なかなか最適な答えは見つからない。

“FMとサービスマネジメントとの融合”があって初めて答えが見えてくる。

座談会ではDXがもたらす、社会（Society5.0）の時代に病院が求められるもの、それを実現するサービスとファシリティについて著名な先生方にお話をいただくのでご期待ください。

●講演 **堀 賢** 順天堂大学大学院医学研究科感染制御学教授

未来の病院を支えるFMの考え方

病院FMとサービスマネジメントの融合

●パネルディスカッション

未来の病院が求められるサービスとファシリティ

パネリスト **堀 賢** 順天堂大学大学院医学研究科感染制御学教授

長澤 泰 工学院大学特任教授 東京大学名誉教授 JFMA理事

尾方 壮行 早稲田大学理工学術院総合研究所 田辺新一研究室 次席研究員

杉山 靖尚 清水建設株式会社 医療福祉設計部 部長

モデレーター **和泉 隆** 帝京大学 特任アドバイザー / JFMAヘルスケア研究部会

2F 福 寿

15:50 ~ 17:45

グローバル

「グローバルFMサミット」シンポジウム 各国リーダーが語るグローバルFMの最新動向

米国が発祥のファシリティマネジメント（FM）は欧州に導入され、欧州各国に展開されている、また米国 FM 協会 IFMA と連携して FM を導入した日本では、日本の実情に合わせた FM を展開している。一方、2018 年に発行した FM の ISO 規格に従い、FM のマネジメント手法の統一を目指す活動も活発化しており、グローバルな分野における FM の多様化と統合が進んでいる。さらに近年 SDG s が世界中の目標となり、また温暖化対策などグローバル連携が必須となり、

FM のグローバル分野での果たす役割はますます重要となっている。

このような背景を基に、米国、欧州、及びアジアの FM トップリーダーが一堂に会し、各国の FM の現状と今後の展望についてお話しいただくシンポジウムを開催する。各 FM リーダーの知見からもたらされる最新の FM 情報を入手することで、国内及びグローバルな FM 戦略の推進に役立てることが可能となろう。

●コーディネーター

松岡 利昌 JFMA 理事

JFMA 更新講習委員会委員長、
株式会社松岡総合研究所代表取締役

●サブコーディネーター

川村 正夫 JFMA ISO 推進部長

●アシスタントコーディネーター

三島 佳名恵 大成建設株式会社

ライフサイクルケア推進部 FM 推進室

●講演

Mr. John Carrillo (米国 IFMA 会長)

Dr. Hyo Jin Yoon (韓国 KFMA 会長)

Mr. Erik Jaspers (オランダ PLANON 社ディレクター)

Mr. Gao Yan (中国 ベストスマート社)

2F 桃 源

2F 桃 源

13:40 ~ 14:20

公共・プラットフォーム

FMプラットフォーム構築による 事業モデルの変革

イオンデライト株式会社
事業構造改革本部

本部長 **仲宗根 満**

日本のビルメンテナンス（ファシリティマネジメント）業界は、第2次世界大戦以降、70年超ビジネスモデルが大きく変化していない。

就労人口減少、高齢化などの社会環境の変化が加速し、多くの課題が山積している。

イオンデライトは「安全・安心」、「人手不足」、「環境」という3つを最重要課題とし、デジタルトランスフォーメーションやテクノロジー（AI・IoT）活用に取り組み、ファシリティマネジ

メントのあり方を再構築する取組みを行っている。

FM業務のデジタルトランスフォーメーションを推進し、設備管理や警備、清掃といった各分野の専門家が、総合的かつ効率的にサービスを提供していく仕組み（FMプラットフォーム）の構築を目指している。

FMプラットフォームの構築を目指した取組みの一つとして、「イオン藤井寺」に導入したオープンネットワークシステムの具体例を解説する。

2F 桃源

14:40 ~ 15:20

公共・プラットフォーム

プラットフォームビジネスへの道

株式会社山下PMC

代表取締役社長 **川原 秀仁**

デジタル・ディスラプションという言葉が登場してわずか数年しかたないうちに、世の中を席卷しています。この言葉と呼応するように「プラットフォーム」という言葉も同様に猛威を振るっています。自著「プラットフォームビジネスの最強法則」を出版したのが2019年3月ですが、その頃はまだ出始めたばかりだったにもかかわらずです。

本講演では、「自著：プラットフォームビジネスの最強法則」の中から、要点を抜き出し、ご紹介します。

- ・建設産業におけるプラットフォームビジネスの必要性
- ・プラットフォームビジネスの具体的な内容
- ・プラットフォームビジネスが建設産業に及ぼす影響はどの程度のものなのか

2F 桃源

15:50 ~ 17:30

公共・プラットフォーム

公共FMシンポジウム

公共FMバトル —学×民×官—

「公共施設等総合管理計画」策定から「個別施設計画」策定へシフトしている今、公共FMの行方は混沌としている。そこで、公共FMの第一線で活躍している三氏による公共FMの過去から現在、現在から未来へ向けて、それぞれの立場から発表をいただき、その後、三氏にパネリストとして、会

場の参加者を巻き込み本音で語り合う。維持管理運営の確立から経営的発想への転換を基軸にして、個別施設計画で求められる中長期的計画の内容について、市民・住民の声を聞きながら実行するFMを論じ合う。

●コーディネータ

高橋 康夫 JFMA公共施設FM研究部会 部会長
公益社団法人 群馬県建設技術センター FM室長

●司会

今岡 夕子 JFMA公共施設FM研究部会員
アジア航測株式会社

●講演・パネリスト

南 学 東洋大学経済学研究科(公民連携専攻) 客員教授

池澤 龍三 一般財団法人建築保全センター保全技術研究所第三研究部次長

宮谷 卓志 鳥取市役所総務部財産経営課財産活用推進室資産活用係長

5F 小ホール

特別講演

10:00 ~ 11:40

テーマ デジタル・トランスフォーメーション(DX) の本質

東京大学大学院情報学環准教授

高木 聡一郎

「デジタル・トランスフォーメーション」(DX)という言葉が広く語られるようになりましたが、それが意味するところは必ずしも明確ではありません。DXはデジタルの技術で本質的な変化を生み出そうという掛け声ではあると思うのですが、デジタルが社会をどのように変えていくかに関してはあまり語られておらず、その方向性も明らかではありません。

私はDXがもたらす本質的な影響を「デフレーミング」(フレーム:枠がなくなるという意味の造語)という概念で捉えています。デフレーミングは「分解と組み換え」、「個別最適化」、「個人化」の3つの要素から構成されます。特に「個人化」については、今回のフォーラムのテーマ「人フォーカスの時代」につながる部分も多く、世界各地に広がるワーキングスペースはその端的な事例です。

本講演では、この3つの要素を手掛かりに、ビジネスモデル、企業の成長戦略、私たちの働き方など、DXの本質を国内外の多彩な事例を紹介しつつ議論するとともに、FMへの示唆を検討します。

プロフィール 株式会社NTTデータ、同社システム科学研究所、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM)教授/研究部長/主幹研究員等を経て2019年より現職。国際大学GLOCOM主幹研究員を兼務。これまでに、ハーバード大学ケネディスクール行政大学院アジア・プログラム・フェローなどを歴任。専門分野は情報経済学、デジタル経済論。

特別講演

12:00 ~ 12:40

テーマ テレワーク推進と ファシリティマネジメントの 潮流

株式会社パソナリンクワークスタイル推進統括
東京テレワーク推進センター 事業責任者

湯田 健一郎

いよいよ東京2020大会の年。祭事ムードが日々高まる中、大会期間中に1,000万人の人々を迎える東京で今、働き方が大きく変わろうとしています。その中心となる施策が「テレワーク」です。期間中の交通混雑緩和に加え、優秀な人材の確保、従業員の育児・介護と仕事の両立、業務改善による生産性の向上など、様々なメリットがある「テレワーク」。

本セミナーでは、先進企業が取り組んでいる実践的な事例を紹介しつつ、ワークプレイスの広がり、サテライトオフィス活用、マネジメントスタイルの変容などFMの観点でどのような波及があるのかを解説します。また、テレワーク導入のポイントや、企業におけるFM高度化につながる各種支援策・助成金の展開状況もお伝えします。

新時代のICT活用とマネジメントスタイルを組み込むことにより、時代の変化を捉え、人と場を活かしつつ収益性・企業成長を促すことができるFMアプローチを推進したい方、ぜひご参加ください。

プロフィール 組織戦略・BPO・CRMのコンサルティングに携わり、特にICTを活用した事業プロセス最適化の視点から、幅広い業界・企業を支援。現在は株式会社パソナにてテレワーク推進の統括を行うとともに、自身もパラレルワークを実践。働き方改革推進の事業運営を広く手掛け、厚生労働省の柔軟な働き方に関する検討会委員としてテレワークガイドラインの改訂にも参画するなど、近年の政府テレワーク推進施策に深く従事している。

5F 小ホール

5F 小ホール

13:40 ~ 15:20

eコマース

eコマースとFMシンポジウム

eコマース時代の商業施設のあり方を考える

インターネット上で商品やサービスの売買を行う電子商取引「eコマース」。

扱う商品も、食品、衣類、雑貨、家電、書籍、チケット旅行商品をはじめ様々な分野におよび、その市場規模は、BtoC では20兆円近くに、BtoB においては200兆円越えといわれています。

そのような状況で、実際の商業施設を保有するデパート

やショッピングセンター、大規模複合施設などのあり方も必然的に変化を求められてきています。

利便性、価格競争、ブランディング、商圈、セキュリティ、実際のショップでの体験等々さまざまな価値が変化する商取引の中で、これからのeコマースと商業施設のあり方を、それぞれ業界を代表する方々に語っていただきます。

●コーディネータ

松岡 利昌

JFMA理事、更新講習委員長
株式会社 松岡総合研究所
代表取締役

●講演・パネリスト

栗原 弘一

森ビル株式会社 営業本部商業施設事業部 執行役員

四方 基之

イオンディライト株式会社 取締役兼常務執行役員 グループ戦略・デジタルソリューション統括

吉橋 正浩

楽天株式会社 コマースカンパニー マネージャー

池澤 威郎

福山市立大学 都市経営学部 准教授 (元株式会社 JR東海高島屋)

千葉 友範

EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社 ディレクター

5F 小ホール

15:50 ~ 17:30

BIM-FM

BIM・FM シンポジウム

ファシリティマネジメントにBIMは有効か

国土交通省では、2019年6月に建物のライフサイクルを通じたBIMの最適化をめざし、学識経験者、BIM関連団体の参加による「建築BIM推進会議」を発足させた。また、同年8月には、JFMAのBIM・FM研究部会が「ファシリティマネジメントのためのBIMガイドライン」を発行し、12月には発刊記念シンポジウムを開催した。

日本において、おもに設計、施工段階で利用されてきたBIMが、運用段階まで含めたライフサイクルを通じたBIM活用の時

代を迎えている。

当シンポジウムでは、国土交通省より「建築BIM推進会議」の狙いと活動状況を紹介いただくと共に、JFMAからは、ガイドラインでは簡単な事例紹介で終わっているBIMとFMソフトの連携事例を紹介する。事例は、JFMAのコンピュータ活用研究会と、BIM・FM研究部会から紹介する。

後半では、発注者と国土交通省を交えて、FMにおけるBIMの有効性についてディスカッションを行う。

●講演

「**建築BIM推進会議**」の
狙いと活動状況

田伏 翔一 国土交通省住宅局建築指導課課長補佐

●事例紹介

木村 圭介

コンピュータ活用研究会

株式会社 FMシステム システム開発部 マネージャー

澤本 勇樹

BIM・FM研究部会

株式会社 アイスクウェアド 専務取締役

●パネルディスカッション

パネリスト

田伏 翔一

モデレータ

猪里 孝司

BIM・FM研究部会長 大成建設(株) 設計本部企画推進室長

木村 圭介

天神 良久

コンピュータ活用研究会会長 東洋大学 客員教授

澤本 勇樹

2F 蓬 菜

2F 蓬 菜

10:00 ~ 10:40

●FM戦略・企画研究部会

都市の持続可能性・活性化と
レジリエンス株式会社 NTTファシリティーズ FMアシスト
安全推進室 技師長
部会長 **高藤 眞澄**株式会社 NTTファシリティーズ総合研究所
環境技術部長 **塚田 敏彦**Facility Conceptor **重富 賢太郎**

前回、まちづくりにおける都市・地域の持続可能性への要件を整理するとともに、持続可能性の重要要件である地域経済活性化への取組みとして観光振興によるまちづくり事例等を取り上げ、持続可能性への効果を研究報告した。今回、更に事例研究を継続しているが、最近の頻発する豪雨災害に鑑みて、地域活性化とレジリエンスの2つの視点による分析を行っている。豪雨災害は自然災害の中でも発災予測可能、避難のタイムライン設定可能、避難計画作成可

能等の理由から豪雨災害に対するレジリエンス目標を人にフォーカスして「今後の豪雨災害において犠牲者をゼロにする」ことを提案したい。地域活性化に関しては、「まちづくりチャレンジ100」（内閣府）等から事例を取り上げ、地域資源を活用して地域価値を向上させる取組みや持続可能性への効果分析を行うとともに、立地リスクを検証の上、地域価値の維持のためにも必要な対策をまちづくりへフィードバックすることを検討する。

2F 蓬 菜

11:00 ~ 11:40

●エネルギー環境保全マネジメント研究部会

経営課題となった
脱炭素・循環型社会・職場環境の動向株式会社 NTTファシリティーズ
研究開発部 研究企画部門 部門長
部会長 **横山 健児**

2015年に国際合意したパリ協定と持続可能な開発目標(SDGs)は、国際社会と企業に大きなインパクトを与えている。特に、環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)などの非財務情報を考慮して投資するESG投資の拡大は企業にとってのビジネスリスクとなっているが、逆に新たなビジネス機会とも捉えられている。

本講演では、まずは企業における脱炭素化、循環型社会、働き方改革に向けた取組みについて紹介する。

次に、この状況を踏まえて①再生可能エネルギーの動向と主力電源化に向けた太陽光発電の課題、②プラスチックごみ輸出停止の影響とRPF(Refuse derived paper and plastics densified Fuel)の活用、③オフィス環境と地域交流やBCPを考慮した街づくり、について調査研究した結果を報告する。

2F 蓬 菜

12:00 ~ 12:40

●CREマネジメント研究部会

CREマネジメントで組織と ワーカーを活性化する ノウハウについて

東京オペラシティビル株式会社 取締役 管理部長

部会長 **大野 晃敬**株式会社 ニッセイ基礎研究所 社会研究部 上席研究員 **百嶋 徹**

CRE(企業用不動産)は企業の事業活動の基盤である。自社のワーカーの価値感・繋がりといった企業文化を醸成させていく器であると共に、社会的価値を創出し地域・社会と共生していくための場所でもある。これらを両立させながら創造性豊かな人財を育てていくことが企業価値向上に繋がるとの認識のもと、グローバル企業においては、CREを働き方改革の推進役として戦略的に捉え、生産性を飛躍的に向上させている企業も多い。特に、ESGの観点からSDGsへの取組度合いが企

業評価に直結するようになる中で、積極的にノンコア業務をアウトソーシングしつつ、自社の組織の活性化を図ってきており、最先端モデルとして参考にすべき取組である。一方日本の企業は、グローバルトレンドを横目に見ながら、どのような捉え方をし、どこまで進んできたのか。最新のグローバルと国内の事例などを例示比較しながら、CREマネジメントをいかに組織に根付かせるか、戦略的にどのような取り組みをすべきか、その手法とノウハウを考察する。

2F 蓬 菜

13:40 ~ 14:20

●リスクマネジメント研究部会

自然災害に対する施設リスク把握

Facility Management 防災 Lab 代表

部会長 **上倉 秀之**

近年多発する自然災害では施設の立地や構造のリスクが大きく影響しています。

一方、計画時に立地リスクの評価が十分行われているとは言えない事例も多く、ファシリティマネジメント戦略上重要な課題となっています。

地域リスクの把握や想定を超えた場合の対応、今後の企業戦略・ファシリティマネジメント戦略におけるリスクマネジメントのポイントを開発するとともに、立地リスク情報共有手法「Facility・DIG」をご紹介します。

2F 蓬 菜

14:40 ~ 15:20

●運営維持手法研究部会

運営維持の視点で 『ファシリティマネジャーを育てるヒント』 (初級者編)

工学院大学建築学部 兼任講師

部会長 **吉瀬 茂**NECファシリティーズ株式会社 **畠山 貴紹**グローブシップ株式会社 **猪股 圭介**株式会社メイテック **細川 和也**

少子化が進む現代では、人材不足が問題になっているところ。当部会では、人手・人財不足を補うためのガイドブックとして、運営維持の視点で『FM'erを育てるヒント』(初級者編)を作成しているところ。運営維持の業務に関わるリスク対応や効率化・省力化を念頭におき、三つの業務視点(設備・清掃・警備)から現場における課題を洗い出し、課題解決のための『き

っかけづくり』となるポイント抽出の試みを行っている。特に日常や短期・中長期に必要な対応や業務のあり方を探り、収集されたデータから改善のきっかけとなるポイントをまとめ、新人のFM'erやその指導者の方々へのガイドブック『きっかけづくり』としていく。今回のフォーラムでは、これまでに行ってきた研究の取り組み状況をご報告いたします。

2F 蓬 菜

15:50 ~ 16:30

●人と場へのFM投資価値研究部会

「人と場」FMが創出する ウェルネス組織経営

三幸エステート株式会社
部会長 岡田 大士郎

「人と場へのFM投資価値研究」を通して見えてきたものは、価値創造活動（仕事/志事）に従事する「人」が、働く喜びや生きがいを感じ、人生100年時代をエイジレスにライフシフトしてゆける社会「場」を創出してゆくFMの在り方とその意義と価値。それは、今年の『ファシリティマネジメントフォーラム2020』のテーマである「人フォーカスの時代」-ファシリティマネジメントが拓く未来-に相通じるものである。「人と場」が意味するところは、オフィス等ワークプレイスの「ハードファシ

リティ（建物、空間、設備等）」に加え、そこで働き暮らす「人間」の存在にスポットを当て、働く喜びや楽しさ、そして幸せを感じながら自己実現に向けた人生活動を送れる「ソフトファシリティ（心地や想いの感性等）」たるマインドプレイス「場」を、経営側と共創してゆくハイブリッド調和型FMの形ともいえる。本講演では未来型FMの視点で「ウェルネス組織」を創造してゆく「人と場FM」の研究成果を紹介する。

2F 蓬 菜

16:50 ~ 17:30

●キャンパス FM研究部会

私立大学の財務支援における FMの在り方

東京音楽大学 キャンパス整備室 室長
部会長 藤村 達雄

私立大学においては、継続的な大学運営のための計画的な施設整備と、安全・安心の確保や日常的な施設運営に、一時的に膨大な財源確保と経常的な経費確保を自ら行わなければならない。また、本年4月からは、改正私立学校法が施行され、中期的な計画、予算、事業計画の作成及び財務諸表等の情報の公表が義務づけられ、より適正な運営により、公教育を担う

学校法人として安定した経営が求められることになった。さらに、私立大学版ガバナンス・コードの策定などにより、ガバナンスの強化も求められている。今後、私立大学のファシリティマネジャーは、これらのことを踏まえ、施設設備の継続的な保持と、その維持保全を行うことが必要である。今般は、私立大学の財務支援の視点からFMの在り方について発表する。

第14回 日本ファシリティマネジメント大賞 JFMA賞 受賞講演

日本ファシリティマネジメント大賞(JFMA賞)は、国内におけるFMの普及・発展に資することを目的としてFMに関する優れた業績等を表彰する制度です。

第14回日本ファシリティマネジメント大賞(2019年12月19日発表)では、優秀ファシリティマネジメント賞3件(うち鶴澤賞1件)、特別賞1件、技術賞1件、功績賞3件、奨励賞5件の事例・研究等が受賞いたしました。

「FACILITY MANAGEMENT FORUM 2020」では、授賞式のほか、優秀ファシリティマネジメント賞、特別賞、功績賞について受賞者の講演を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

- 授賞式 2月20日(木) 5F 小ホール 16:10(開会)～18:00
- 祝賀会 2月20日(木) 2F 瑞雲の間 18:30～20:00 参加費 5,000円(受付開始 18:00～)
- 受賞講演 2月21日(金) 2F 瑞雲の間 10:00～17:30 (プログラムは以下の通り)

2F 瑞雲

● 最優秀ファシリティマネジメント賞(鶴澤賞) 10:00～10:40

持続可能な社会構築のための広域FM 神奈川県住宅供給公社の事例

神奈川県住宅供給公社
理事長 猪股 篤雄

●実践組織 神奈川県住宅供給公社

●サービス提供者 株式会社オービック、株式会社フューチャーネットワークス、
一般社団法人かながわ土地建物保全協会

講評

既存公社住宅ストックの再編成・利活用が大きな経営課題となっている同公社は、約7年間、FMの視点による経営改革を推進している。ライフステージの変化に対応する賃貸住宅事業、「生涯自立」を掲げる高齢者住宅事業、SDGsへの取り組み、財務再編成など、山積する課題を幅広く、着実に解決して前進させ、成果をあげている。FMの財務・品質・供給の3視点がバランスよく、長

期を見据え戦略的に展開されている。その基盤となっているのがFMのデータベースで、全施設の状況が的確に把握でき、PDCAを回して更新されている。理事長以下、80名足らずの職員により、賃貸住宅114団地、13,500戸、高齢者施設970室について、ニーズの変化、地域社会への貢献なども盛り込み、負債を低減するなど、賢く経営し、活用する事業を展開しており、高く評価された。

第14回 日本ファシリティマネジメント大賞 JFMA賞受賞講演

2F 瑞雲

● 優秀ファシリティマネジメント賞

11:00 ~ 11:40

消滅可能性都市が掲げる
持続可能な公園経営

東京都豊島区役所

都市整備部公園緑地課 主任 **藤井 直**

株式会社ランドスケープ・プラス

代表取締役 **平賀 達也**● 実践組織 **東京都豊島区**

● サービス提供者 南池袋公園をよくする会社、株式会社ランドスケープ・プラス

講評

公立公園の活性化事例の応募である。地元、地元をよく知る民間企業、行政の三者協力による新しい公園経営のビジネスモデルを創造している。カフェレストランの営業、イベントスペースの運営、ランドスケープデザインなど、心地よい公園のハードとソフトの両立により、住民が寄り付かなかった状況を大きく改善して、約3年間の実績がある。地下に設けた変電設備の賃料、レストラン売上の一部な

ど、一般の自治体公園にはない収益があり、それを原資にして投資の回収、公園運営費の充当を行っており、黒字経営となっている。豊島区行政では、池袋駅周辺の4公園の整備構想を策定し、4公園をそれぞれ性格を変えて活用する計画が半ば完成し、運用されている。公園というファシリティをまちづくりに活用している好事例といえる。

● 優秀ファシリティマネジメント賞

12:00 ~ 12:40

全室個室病棟の
県立下呂温泉病院における
FM実践活動

地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院

理事長 **山森 積雄**看護部 副看護部長 **松田 敦子**

株式会社安井建築設計事務所

名古屋事務所 副所長 **篠原 佳則**

国立大学法人三重大学

工学研究科 建築学専攻 教授 **加藤 彰一**

国立大学法人名古屋大学

名誉教授 **谷口 元**● 実践組織 **地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院**● サービス提供者 株式会社安井建築設計事務所
三重大学 教授 加藤 彰一
名古屋大学 名誉教授 谷口 元

講評

2014年竣工の県立病院の計画と運営に関するFM実践事例の応募である。2009年より基本計画を開始し、プロポーザルでの設計者選定、その後の設計期間を通して、公立病院としては画期的な全室個室病棟（差額なし）の計画が練り上げられた。竣工後においても、看護師の動線が長くなる課題を解決する効率的な看護体制への改善など、PDCAを回す経営が継続されている。病棟水回りなどを工夫し、工費もローコストに抑え

られている。現理事長のリーダーシップとスタッフの努力により、全個室型病院の企画・計画・設計、竣工後の運営と改善が、一貫して取り組まれている点が高く評価された。継続的な改善活動を担保するようFMの組織体制を充実することが今後の課題といえる。

第14回 日本ファシリティマネジメント大賞 JFMA賞受賞講演

2F 瑞雲

● 特別賞

13:40 ~ 14:20

横浜中央郵便局別館における
施設暫定活用プロジェクトの取組み●実践組織 日本郵便株式会社
株式会社アカツキライブエンターテインメント

●サービス提供者 株式会社コスモスモア、株式会社ヒトバデザイン、株式会社伊藤木材設計室

日本郵便株式会社
不動産部長 横山 明彦株式会社アカツキライブエンターテインメント
取締役 須藤 大輔

講評

日本郵政グループのCRE戦略実践の1つとして、遊休施設の時限的活用により、地域の活性化を促進した事例の応募である。横浜中央郵便局別館は、機能移転の結果、空き施設となり、再開発プロジェクト始動を待つことになった。そこで、横浜駅東口の好立地を利用し、再開発始動までの暫定期間を賑わいのある都市活性化が期待できるテナントをプロポーザルにより誘致し、施設のリノベーショ

ンを行い、有効活用する施策が採用された。財務的なスキームはオーナー側のスケルトン貸し、内外装・設備など新規改修（資本的支出）はテナント側で、投資リスクはテナント側が大半を負う代わりに、賃料は軽減されている。一時的な空き施設を活用する代替策としては、都市の活性化、イメージ向上に貢献するユニークな好事例だと認められる。

● 技術賞

14:40 ~ 15:20

自然の原音(周波数)を活用し、
空間の快適性を高める技術の開発

●実践組織 株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

株式会社 JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
エンタテインメント・ラボ
ラボ長 榎本 誠也

講評

自然の原音を高解像度で活用して、人の生活する音環境をつくるBiophilic Sound Design (BSD) の技術についての応募である。心地よさ、サウンドマスキング効果、リラックス効果、サーカディアンリズムの生理効果などが期待できる。同社のハイレゾ音源、ハイレゾ再生の技術を活用して、鳥の声は上から、川のせせらぎは下からというように、自然界に居るような音空間を再現し、音環境づくりを行う。音源は季節の変化などに

応じて定期的に更新される。すでに約200の適用事例があり、FMの分野での音環境づくりの技術として評価できる。

第14回 日本ファシリティマネジメント大賞 JFMA賞受賞講演

2F 瑞雲

● 功績賞

15:50 ~ 16:30

ブルースタジオ20年間の実践と書籍 「なぜ僕らは今、リノベーションを考えるのか」

〈ビデオ講演〉

株式会社ブルースタジオ
専務取締役 **大島 芳彦**

●実践者 **大島 芳彦** (株式会社ブルースタジオ)

講評

応募者は、2000年より約20年間にわたり「RE*innovation」を掲げてリノベーション事業を継続してきた中心的な存在である。本応募は、FMとつながりの深い一連のリノベーション事業とそのエンジンとなってきた個人の業績に対するものである。「リノベーションとは、つくることにあらず、使いこなすこと」、あるいは「リノベーションは、人・場所・時間に関する潜在能力を最大化するこ

と」というリノベーションの定義づけは、FMのめざす「賢く使う」ことに通じるものといえる。こうした発想のもとに、さまざまな20年間のプロジェクトを通じて、人・街の潜在力を見出し、それを再編集して暮らしの総合的な環境を力強く、かつ優しく愛着のもてるものに育てていく努力を積み重ねてきたことに、共感する。FMの視点に照らして、十分な功績がある。

● 功績賞

16:50 ~ 17:30

ビルメンテナンスの記録に基づく 故障・不具合に関する一連の研究

日本メックス株式会社

技術センター 特別顧問 **高草木 明**●実践組織 **故障・不具合に関わる研究グループ**

代表 **高草木 明** 須藤 美音、千明 聡明、
小松 正佳、大澤 昌志、丹羽 涼介

国立大学法人名古屋工業大学
准教授 **須藤 美音**

講評

本応募では、2001年～2019年の期間に発表された研究論文23編について「一連の研究」の応募対象としている。個人のFMへの功績として評価するには、一括りにはしにくい状況なので、研究グループを評価対象として、個々の研究論文についてFMへの貢献を評価することとした。これらの

研究論文には、オフィスビル、医療施設などのビルメンテナンスの現場で起こる事象を研究対象としている点、保全業務にまつわる故障や不具合を研究テーマに取り上げている点で、FMの運営維持の業務に参考となる知見が数多くある。

審査委員会委員(委員以下五十音順、敬称略) 2019年12月19日現在

講評 審査委員会委員長 北川 正恭

委員長 **北川 正恭** (早稲田大学 名誉教授)副委員長 **深尾 精一** (首都大学東京 名誉教授)委員 **安達 功** (株式会社日経BP執行役員 日経BP総研所長)**鎌田 元康** (東京大学 名誉教授)**亀山 涉** (経済産業省 製造産業局 生活製品課 企画官)**住田 浩典** (国土交通省大臣官房 官庁営繕部長)**長澤 泰** (東京大学 名誉教授・工学院大学 特任教授 名誉教授)**村田 博文** (株式会社財界研究所 代表取締役)**柳澤 忠** (名古屋大学・名古屋市立大学 名誉教授)**米倉 誠一郎** (法政大学大学院教授・一橋大学 名誉教授)**成田 一郎** (公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会 専務理事)

2F 平 安

2F 平 安

10:00 ~ 10:40

公共・ICT・インフラ

よくわかる!
公共建物の長寿命化東洋大学大学院経済学研究科・客員教授 **天神 良久**
日本メックス株式会社 技術本部 技術部長 **秋山 克己**

庁舎、公営住宅、ホール、文化施設、美術館、小学校の長寿命化に至った経緯、長寿命化の企画から大規模改修の設計・工事内容および費用、改修工事後の建物利活用、新築更新と比較した場合の投資効果分析までを事例を基に解説する。また、公

共建物の長寿命化の参考として、大規模改修の重要ポイント、民間オフィスビル、民間マンションでの長寿命化への取り組み事例を解説する。

2F 平 安

11:00 ~ 11:40

公共・ICT・インフラ

公会計データの
施設コスト評価活用例株式会社日本設計 PM・CM部
シニアエンジニア **加藤 泰正**

近年、地方公会計の整備が進み、管理会計としての活用も図られている。その中で、施設別に仕分けされた行政コスト計算書、貸借対照表の公会計データを、従来から利用してきた公共 FM を推進支援するための公共施設データベース（以下、「公共 FM 支援システム」と呼ぶ）に取り込み、施設のコスト評価を可能にした例を紹介する。

公会計データを公共 FM 支援システム取り込むに際し、公会計システムと公共 FM 支援システムの双方の間には様々な定義の違いが存在した。例えば、対象施設そのものの違い、対象施設の存続

期間の違い、固定資産台帳における複合施設の考え方の違い、等が挙げられる。一方、従来から使われている予算科目、公会計の勘定科目、施設コスト評価用科目の対応関係の調整も必要となる。

公会計データを取り込んだシステムが継続的に使用される実用的なものにするためには、それらの問題点を細部にわたって丁寧に解決する必要がある。本講演では「公会計データを施設評価に利用する」という総論的な話ではなく、双方のシステムを具体的に突き合わせた時に発生する様々な問題点にどのように対応したかを紹介する。

2F 平 安

12:00 ~ 12:40

公共・ICT・インフラ

FM価値を可視化する
ワークテック最前線三幸エステート株式会社
ワークスタイルソリューション戦略室
ワークスタイルプロデューサー **岡田大士郎**

FM の価値とは、企業、公共、自治体、教育機関等の組織社会の発展に寄与し、豊かで安心安全な『コーポレート&ソーシャル・ウェルビーイング』の実現と、組織社会で働くすべての人々や、自立（律）的に活動し自営で働いている人々の『ヒューマン・ウェルビーイング』実現の最適調和を社会に実装・定着化させてゆく取り組みである。この発表においては、FM の活動を通して、組織社会に「Happy Workstyle」を創造・創出してゆくことが「FM 投資」の目的と再定義する。

そして、斯かる目的を実現させてゆく為の手段や手法、また理

論や学術研究成果等の知見を、合理的かつシステムチックに集積・再編集させる『システムチック・キュレーション』を応用した「場」のプロデュースの価値（= FM 投資価値）を、「ワークテック」の手法を応用し、経営や利害関係者に対し客観的かつ納得感のある「説得手法」を、実践事例を織り込みながら提言してゆく。

「FM 投資」プロセスの可視化や、価値創造への効果・影響度の「測定」を、ステークホルダーにとって納得しやすい疑似可視化手法とはいかなるものなのかを紹介する。

2F 平 安

13:40 ~ 14:20

公共・ICT・インフラ

オーナーと 現場をハッピーに！

住友セメントシステム開発株式会社

FMソリューション部

営業チーム チームリーダー **柳 良和**

施設に関するステークホルダーの皆様にとって、どのような状態であれば「うれしい」のでしょうか？

オーナー（代行）にとっては、「更新・修繕などの支出が平準化できる。」「事故などのトラブルが発生しない。」「管理現場では「二度手間など無駄な作業がない。残業が少ない。」「オーナーからの問い合わせに素早く対応し、信頼・評価されている。」などが挙げられるのではないのでしょうか。

一方、実態は「突発的な支出が多く、予算化が難しい。」「点検漏れなどによる事故が発生している。」「二度手間が多く、残業が多い。」「必要な情報を探すのに時間がかかる。」などオーナー、管理現場とも多くの課題を抱えています。

課題解決の手段として、ICT に投資しFM のデジタル化を進める企業も増えています。

一例として、オーナーは現場の日々の情報を裏付けとして修繕計画を立案し、支出の平準化につなげ、管理現場はモバイル端末を活用して簡単に情報をデジタル化し、作業の効率化を実現しています。

FM のデジタル化が施設運営にどんな変化をもたらすのか？「オーナーと現場をハッピーに！」をテーマに、「人フォーカスの時代」に於ける ICT を活用した課題解決への取り組みをご紹介します。

2F 平 安

14:40 ~ 15:20

公共・ICT・インフラ

品質&安全確保のための 研修施設活用の取組

日本メックス株式会社 技術本部

技術部 担当課長 **盛本 昌貴**技術部 担当課長 **柳澤 庸治**

維持管理業務の業務品質を確保するためビル内に電気設備や衛生設備等の実機を配備し研修するO T C（オペレーショントレーニングセンタ）と工事業務における安全確保に向けて仮設材や安全ツール・V R設備を配備した体験型研修施設S T C（セーフティトレーニングセンタ）を構築し全国の社員や協力会社スタッ

フの研修を実施している。また、今年からは安全ツール等をキットにして全国の支店等に機材を持ち込んでの研修を始めた。その取り組み状況をご紹介します。

2F 平 安

15:50 ~ 17:30

公共・ICT・インフラ

インフラマネジメントシンポジウム

『インフラ点検のすゝめ』出版記念シンポジウム

テーマ「技術者は育てなければ育たない！」

インフラマネジメント研究部会はインフラマネジメントの重要性をシンポジウムや現場見学会により、啓発活動を実施してきた。本年度はマネジメントの基本となる技術者の育成に焦点を絞り、自治体職員をはじめインフラ点検の業務に関係する技術者が、枯渇することなく育成されるために現場目線の点検本を作成した、それが「インフラ点検のすゝめ」である。本シンポジウムではインフラ点検分野において、各方面で技術者育成に多大な貢献をされている方々に登壇いただき熱

き議論を展開したい。「予算も人もない！」という課題を抱える自治体インフラ点検分野において、誤解を恐れず言えば「金は官民連携分野の仕組みを変えることで工面できるが、人材は仕組みを変えるだけでは育成できない！」だからこそ国・地域・市民総力を挙げて技術者を育成することをいま真剣に考えないと荒廃する国土になりかねない。本シンポジウムでは自治体インフラが抱える危機感を参加者と共有したい。

● 開会挨拶 インフラマネジメント研究部会 部会長 **中川 均** 株式会社ガイアート 顧問

● 講演 & 発刊祝辞 **自治体を支える教育者の立場**
宮里 心一 金沢工業大学 教授

危機から這い上がる自治体の底力
植野 芳彦 富山市建設技術統括監

● 出版にあたって **ワンチームで臨んだ作成の思い出**

インフラマネジメント研究部会
インフラ点検教本 WG リーダー

田村 裕美 一般社団法人ソーシャルテクニカ

● 来賓講演 **松本 健** 国土交通省 道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室長

● パネルディスカッション テーマ「災害を想定外にしないために」

● コーディネーター 部会長 **中川 均** ガイアート顧問

● パネリスト インフラマネジメント研究部会 顧問 **丸山 久一** 長岡技術科学大学 名誉教授

インフラ点検教本 WGメンバー **田村 裕美** 一般社団法人ソーシャルテクニカ

盛重 知也 西松建設株式会社

渡邊 大介 株式会社ガイアート

岩佐 宏一 アイセイ株式会社

宮里 心一 金沢工業大学 教授

植野 芳彦 富山市建設技術統括官

2F 福 寿

2F 福 寿

10:00 ~ 11:40

SDGs・WELL

健康経営・WELL シンポジウム

テーマ「人フォーカス時代の
健康経営・ウェルビーイング・働き方改革」

フォーラムのテーマでもある「人フォーカス時代」における健康経営・ウェルビーイングについて、グローバルな動向を含めた構図を健康経営タスクフォース座長の似内志朗氏から紹介する。続いて、健康経営企業のトップランナーである(株)フジクラの取組と新しい展開をキーマンである(株)フジクラ健康社会研究所代表取締役 CEO の浅野健一郎氏から紹介する。

さらに後半は、健康経営タスクフォースのメンバーであり、JFMA のこことからだのウェルビーイング研究部会長でもある高原良氏を加え、コーディネータを務める齋藤敦子氏の課題提起に応える形で、パネルディスカッションを行う。会場からの QA も予定。

●講演

報告「人フォーカス時代の都市・建築・ワークプレイス」

似内志朗 健康経営タスクフォースリーダー、ファシリティデザインラボ 代表

講演「フジクラ健康経営の最新事例報告」

浅野健一郎 株式会社フジクラ健康社会研究所代表取締役 CEO

●パネルディスカッション

課題提起・コーディネータ 齋藤 敦子 JFMA広報委員長、コクヨ株式会社 ワークスタイル研究所主幹研究員

パネリスト 浅野 健一郎

似内 志朗

高原 良 こことからだのウェルビーイング研究部会長 株式会社イトーキ

2F 福 寿

12:00 ~ 12:40

SDGs・WELL

JFMA欧州3国FM視察調査団報告

JFMA欧州 FM視察団 団長

人フォーカスの都市、オフィス、そしてFM

ファシリティデザインラボ 代表 似内 志朗

JFMA では毎年、海外 FM の情報収集のため視察調査団を派遣しているが、2019 年度は英国・オランダ・スイス欧州 3 개국視察団の団長として 27 名の参加者ととも欧州の都市を訪問した。近年、欧州を中心に、オフィスビルづくりの中心的課題である健康経営やウェルビーイングを実現する環境をテクノロジーが支え、様々なチャレンジがなされている姿を目の当たりにした。こうした環境をつくりだすバックヤードの指揮者はファシリティマネジャーである。先進的なオフィスビルでは、ユーザー企業のファシリティマネジャーが将来の働き方を推測し、建築家との共同で目的に合うオフィスビルづく

りに設計段階から取り組んでいる。大病院ではサプライチェーンマネジメント・CRE マネジメント・ホスピタリティマネジメントを統合した FM 組織が存在し、また都市レベルにおいては公共セクターが都市の主要な土地を保有し、デベロッパーと協働し、長期的価値に基づくタウンマネジメントを行っている。こうした場面でも公共セクターの広義のファシリティマネジャーが、短期的メリットではなく、長期的視点で良好なファシリティやまちの基盤づくりを行っている姿を、このツアーでは各所で見る事ができた。

2F 福 寿

13:40 ~ 15:20

SDGs・WELL

SDGs シンポジウム

テーマ「SDGsで社会・FMはどのように変わるのか」

SDGs(エスディージーズ:Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MGDs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載され2016年から2030年までに達成すべき国際目標である。日本でも急速に認知度が高まってきたこのSDGsについて、外務省国際協力局地球規模課題総括課長の吉田綾氏およびデロイトトーマツコンサルティング(モニターデロイト)

の山田太雲氏に基調講演いただく。

その後、コーディネータの似内志朗氏から「SDGsとFM」について、講演者およびSDGsに知見のあるJFMA副会長牧貞夫氏(NTT都市開発株式会社)とJFMA広報委員長の齋藤敦子氏(コクヨ株式会社)とを交え、FM分野がSDGsにどの様に貢献できるか、SDGsがもたらす産業構造の変革に対してFMがどのような戦略をとるべきかについてディスカッションを行う。

●講演

講演 「SDGs達成に向けた日本政府の取組」

吉田 綾 外務省国際協力局 地球規模課題総括課長

講演 「SDGsが問いかける経営の未来」

山田 太雲 デロイトトーマツコンサルティング合同会社 モニターデロイト/ストラテジースペシャリストリード

●パネルディスカッション 「SDGsとFM」

課題提起・コーディネータ **似内 志朗** 健康経営タスクフォースリーダー、ファシリティデザインラボ 代表

パネリスト **山田 太雲**

牧 貞夫 NTT都市開発株式会社 相談役

齋藤 敦子 JFMA広報委員長、コクヨ株式会社 ワークスタイル研究所 主幹研究員

2F 福 寿

15:50 ~ 16:30

SDGs・WELL

SDGsに関するFM手法の思考

東京美装興業株式会社

技術部 顧問 **安藤 秀徳**

ファシリティマネジメント部ソリューション課 課長代理 **森下 克也**

SDGsは17のゴール(なりたい姿)を定めている。これらは経済・社会・環境の三側面をつなぐ統合的取組であり、普遍性・包摂性・参画性・統合性・透明と説明責任、が基本とされており、部分最適から全体最適への総合的取組がもたらすシナジー効果を求めている。これはFMと近い概念と考える。

そこでSDGsのゴール「12. つくる責任 つかう責任」を核とし、他2つ「11. 住み続けられるまちづくり」「17. パートナリーシップで目標を達成しよう」を併せて建物を対象に考えた場合、建物のライフサイクル、長寿命化、省エネ等様々な立場(施主、企画、設計、施工、維持管理)を統合することからSDGsの目標達成への道筋が出来るかと考える。

これらを実現化するに当たり、各役割を明確にし、各役割者にとっての部分最適を全体最適にすることからイノベーションが生まれる。そして各役割者間でのパートナーシップが必要とされ、フィードバックとフィードフォワードが必要である。

建築家の青木茂により実施されているリファイニング建築(古くなり解体の時期に来た建物に対して一部を解体しリファイニング技術により新築に近い形に再生する建築)は廃棄物の削減、CO₂削減を実現している。

これらの事例を含め「12. つくる責任 つかう責任」から考えた維持管理技術者の視点からの思考について述べる。

2F 福 寿

16:50 ~ 17:30

SDGs・WELL

WELL・ZEBの 相乗効果が見える10の方法

大成建設株式会社

ソリューション営業本部ライフサイクルケア推進部

FM推進室 次長 丸山 玄

ZEB(ゼロエネルギービルディング)は、地球と共存するための持続性だけでなく、人間にフォーカスを当ててみると「人間性回復」につながる人間本来の「いきいきした活力」を引き出す仕掛けになることが見えてきた。

人と空間のラボ(旧ZEB実証棟)(WELL認証(WELL BUILDING STANDARD)既存建物でプラチナ))を事例に、ZEBを実践しながら人間性を回復するHardとSoftの仕掛けを「10の方法」として整理した。

1●足算から、引き算の魅力

- ・究極は東屋
- ・囲炉裏に人が集まる

2●充足することで行き詰る

- ・動けないツール
- ・動きたいしかけ

3●自然の力が、私たちの力

- ・自然のエネルギーは、脳のエネルギー
- ・生活のリズム、メリハリもその場の自然から

4●生み出すものを増やす

- ・エネルギーは使うものから生み出すものへ
- ・気力を減らす作業から、やる気を生み出すワークへ

5●これからは時間もマネジメントへ

- ・勤務時間や会議時間を計る意味
- ・変わらない価値の管理から、変わる価値を生み出すマネジメントへ

6●脳と体と意識の関係

- ・意識があるから悩む
- ・創造的なスマートな振舞い、それでもおなかはずく

7●バーチャル世界で仕事

- ・移動が減れば省エネ、増える豊かな時間
- ・食事とトイレは、移動が必須(光合成はできない)

8●サーカディアンは省エネ?

- ・深い眠りは、効率よく質の高い生産性へ
- ・リズムが演出する魅力ある生活

9●求められるこれからの技術

- ・バラエティにそろえることから、必要なものだけにそぎ落とす
- ・繊細・綿密は生活のリズムから生まれる創造マインド

10●コミュニケーションを再考

- ・不足から生まれる一体感と信頼
- ・人間の本来の力を呼び覚ませ

2F 桃 源

2F 桃 源

10:00 ~ 10:40

働き方改革

チームビルディングとしてのオフィスづくり ベンチャー・スタートアップ企業の事例より

株式会社ヒトカラメディア

プランニング事業部 八塚 裕太郎

大手企業のオフィスでは働き方改革の流れからテレワークが解禁され、コワーキングスペースが積極的に使われるようになってきた。オフィス内でもABWが導入され、社員は自らの作業内容に応じて自由に働く場所を選ぶ。いわばオフィスサービスを利用しながら仕事をする認識が広がっている。

その一方筆者の関わるベンチャー、スタートアップ企業のオフィスづくりにおいては、自社オフィスへのこだわりが強い。社員数を増やしていくタイミングにおいては、事業成長と同時進行で組織づくりを進める必要がある。メンバー同士どんなことを大切

にして活動していくのか。組織としてどんな未来のイメージを描いていくのか。オフィスはビジョンやミッションを描くのと同様に組織全体に関わるテーマであり、この過程で生まれる共通理解がチームビルディングの役割を果たすことにつながっている。

大手企業の安定した役割環境の中で働く場合には、オフィスサービスの利用が良い選択肢になりそうだが、ビジョンや未来のイメージを描き直しが必要な場面では、ベンチャー・スタートアップ企業に限らずチームビルディングとしてのオフィスづくりが活かせるのではないだろうか。

2F 桃 源

11:00 ~ 11:40

働き方改革

オフィスプロジェクトでの 調査とその活用

株式会社ディー・サイン プレスマネジメント研究所

所長 平出 英仁

オフィスの移転や改修には、人的リソースも含め、多大なコストが発生します。限られた予算を無駄なく、的確に、投資対効果の高い施策に投じることが求められます。社員にとって満足度の高い、期待に沿うオフィスづくりをいかに行うか、調査を

活用してのオフィスプロジェクトについてお話しします。また調査のみならず、オフィスを変えてゆくにあたり、社員にとってストレスを与えず、スムーズなオフィス変革を行うにはどのようなステップを踏むことが効果的なのか、事例も交えてお話しします。

2F 桃源

12:00 ~ 12:40

働き方改革

企業資産価値を最大化する FMプラットフォーム海外事例ご紹介

ARCHIBUS,INC.

VICE PRESIDENT **Dennis Cheng**株式会社アイスクウェアド 専務取締役 **澤本 勇樹**

海外の最新事例からひも解くFM運用の最前線をご紹介します。IoTやAI、BIMといった情報をどのように活用しているのか、目に見えるモノの管理ほか、施設の利用者、ワー

クプレイス、施設維持コストの管理など幅広いFM業務実践のヒントを事例から感じ取っていただければ幸いです。

2F 桃源

13:40 ~ 14:20

働き方改革

FMイノベーションへの取り組み

JR東日本ビルテック株式会社

代表取締役社長 **横山 淳**

JR東日本グループの約1700の駅、約310万㎡に及ぶ商業施設の建物設備管理を中心としたFMを推進していくにあたり、公共性の高い建物施設であることから、【安全】【安心】【快適】に重きを置いた建物設備の維持管理や施設管理が求められます。一方、昨今の、世の中及び人の価値観の変化の中、事業の継続とお客様や従業員の満足度向上のため

には、様々なイノベーションが必要とされています。

本発表では、弊社の紹介と共に、【安全】【安心】【快適】【満足度向上】の為に、働き方改革はじめ、人に特化した様々なイノベーションについて提言いたします。

2F 桃源

14:40 ~ 15:20

働き方改革

オフィス内における 業務活動データ分析と 利活用について

株式会社イトーキ 商品開発本部

先端研究統括部 先端技術研究所 **田中 勇一**

オフィス内における業務活動を定量的に捉えることで、今まで見えづらかったオフィス内における「働き方」と「ファシリティ」の関係性を少しずつ明らかにすることが出来た。

として、オフィスの使われ方や働き方を分析し、その結果をオフィス空間設計や施策にフィードバックしていくことが、可能となった。その分析と利活用についてご説明いたします。

また、データの利活用に伴う、情報保護プライバシー保護の観点も、事例を交えてご紹介いたします。

2F 桃源

15:50 ~ 16:30

働き方改革

ネクサス・コモンズ ーイノベーションを超える創生空間の創り方ー

株式会社オカムラ フューチャーワークスタイル戦略部

はたらくの未来する研究所 前田 明洋

グローバル社会が浸透し、重要経営課題としてイノベーションが叫ばれている。その為には、どんな人財を、どう組織し、ワークすれば良いのか?その空間環境(ファシリティ)とは?これらについて一つの提案をします。

- ・欧米型イノベーションの欠点と日本型イノベーションへの提言。
- ・イノベーションが発動するための条件とは。
- ・新しい価値を創るための人財と組織と課題解決型組織の違い。
- ・イノベーションを発動させる「ネクサス・コモンズ」空間とその機能。

2F 桃源

16:50 ~ 17:30

働き方改革

ワーカーが幸せに働ける環境とは? フレキシブルワークプレイスという選択肢

株式会社ザイマックス不動産総合研究所

主任研究員 石崎 真弓

企業の働き方改革は進展をみせているといえるが、ワーカーにとっての働き方改革はどこまで進んでいるといえるだろうか?また、日本においてもフレキシブルなワークプレイスのサービスが増えており、企業の利用も増えているが、その実態把握は依然道半ばといえる。真のユーザーといえるワーカー自身が幸せに働ける環境とは具体的にどういったことを定量調査および海外事例などから考える。

- ・企業による働き方改革と働く場に関する定点観測データより実態とニーズをみる
- ・オフィスワーカーによる働き方と働く場に関するアンケート調査より、実態とニーズをみる
- ・企業とワーカーのギャップをみる。ワーカーにとって幸せに働ける環境の整備が生産性の向上につながるか
- ・フレキシブルワークプレイスのマーケットをグローバルな比較をもとに整理・理解する

2/20日(木)	株式会社 NSFエンゲージメント	41	
	株式会社構造計画研究所		
	株式会社ザイマックス		
	EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社		
	株式会社山下 PMC		
	日比谷総合設備株式会社		
	プロパティデータバンク株式会社		
2/21日(金)	株式会社 FMシステム	43	
	高砂丸誠エンジニアリングサービス株式会社		
	株式会社ウフル		
	福井コンピュータアーキテクト株式会社		44
	三菱地所株式会社		
	清水建設株式会社		
	日本メックス株式会社		
株式会社 イトーキ			
大成建設株式会社			
住友セメントシステム開発株式会社	45		
イオンディライト株式会社			

2/20日(木)

1F 展示会場 企業プレゼンコーナー

11:00 ~ 11:30

株式会社NSFエンゲージメント

ビジネス部門 チーフプロデューサー

高野 昌幸

エンゲージメントの新しいスタンダード

NTTファシリティーズとソニーコーポレートサービスが設立した合併会社「NSFエンゲージメント」は、2019年10月1日に事業を開始いたしました。NSFエンゲージメントは、ソニーグループで培ってきたファシリティマネジメント及びワークプレイスソリューションの専門性と、NTTならびにソニーの技術力をベースに、“場から人をエンゲージメントする”ワークプレイスの新しいスタンダードをお客様に展開して参ります。ここでは、NSFエンゲージメントの会社概要と、取り組み事例についてご紹介いたします。

- ①自社オフィスを実証実験の場、ショールームとする「エンゲージメント・ラボ」
- ②エンゲージメント・ラボで開発中の「オフィスソリューション」
- ③「どこでもミーティングキット(仮称)」のデモ

11:40 ~ 12:10

株式会社構造計画研究所

住環境営業部

坂上 裕信

建築・FM分野における 3Dデジタルデータ技術の活用事例

近年、労働力人口の減少や高齢化が深刻化し、特に、フローからストックへの転換が加速しつつある既設建造物の維持管理、改修業務においては、ICT活用による業務効率化が急務と考えられる。この取り組みの一つにフィジカル空間からセンサとIoTを通じて多くの情報を集積し、サイバー空間上でAIがビックデータ解析し、高付加価値をフィジカル空間にフィードバックする仕組み、デジタルツイン、CPSという考え方があります。特にBIMデータを持たない多くの既存建造物の空間情報を構築するには、効率よく3Dデジタルデータを広範囲に収集する手法、またそのデータを広く使えるプラットフォームの確立が求められております。本セッションでは、既存建造物、特に大規模で入り組んだ施設などを非常に効率よく計測でき、ブラウザ上でストリートビュー形式にて誰でも手軽に閲覧、関係者で共有できるサービス、「NavVis」、についてご紹介いたします。

1F 展示会場 企業プレゼンコーナー

12:20 ~ 12:50

株式会社ザイマックス

ジネットワーク事業部

十川 咲

働き方をジザイに。変わる！オフィスの在り方とは

未曾有の通勤混雑が予想される今年の夏、皆さんはどこで働きますか？

2020年の夏は世界中から多くの観光客が東京に訪れ、場所によっては通常ラッシュ時の2倍以上の混雑も見込まれていることから、企業は、従業員の都心への出勤を抑制する対応も必要になります。

その手段として、在宅勤務や時差出勤もありながら、更に数万人規模の郊外ワークプレイスが必要になるとザイマックスは考えます。

そのため、私たちは、法人会員制サテライトオフィス「ZXY(ジザイ)」を首都圏郊外中心に約70拠点展開しておりますが、それに加えて、期間限定の簡易型ZXYである「ZXY Camp」を、首都圏郊外で大量に開設いたします。

今年の夏は、未来の働き方に向き合う絶好の機会です。働く場所の多様化で選択肢が増えるなかで、これまで「働く場所」について取り組み続けたザイマックスだからこそ辿り着いた、新しい働き方やオフィスの可能性についてご紹介いたします。

13:00 ~ 13:30

EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社

Customer Manager

高橋 淳二

FM業界におけるIoTトレンドと、今取り組むべきこと

昨今、IoTというワードは広く一般的となっていますが、一方でIoTの本質を理解していないために現場ではIoTの活用やPoCが上手くいっていないケースがあります。

機械にセンサーを設置してデータを取るだけがIoTではありません、ファシリティマネジメントの業界に限らずIoTを成功させるためには今後どのようなことを考えて実施していく必要があるのか。

重要なのはデータを蓄積したその先にあるデータの利活用と変化だと考えています。

UX(ユーザーエクスペリエンス)をしっかりと検討した上で、データを利活用して思考や行動の変化を起こし、ビジネスの変化を起こすことがIoTの本質であると言えます。

13:40 ~ 14:10

株式会社山下PMC

執行役員 事業管理運営本部 本部長

松浦 裕

経営ビジョンを実現するビジョン指向型FM「Facility Dr.」

数十年におよぶ施設の寿命。施設の老朽化に加え、社会的劣化も進み、施設運営を見直す時期が必ずやって来ます。山下PMCでは、建築・不動産・財務等の知見を掛け合わせ、施設運営そのものの課題のみならず、その背後・周辺にある経営課題もとらえることで根本的な解決策を考え、お客さまと一緒に改善につなげていきます。山下PMCは、ストックマネジメント戦略として「Facility Doctor」サービスを実践しております。

(1) 業務プロセス再構築：予算編成・予算執行に関する業務プロセスをゼロベースで見直し、施設運営を事業運営・事業創造につなげていくための業務プロセスを構築します。

(2) 投資判断支援：事業運営・事業創造の視点から、アイデアの幅を広げ、合意形成を促す場をマネジメントし、投資判断材料を定義します。

(3) プロジェクト執行：支出削減と収入創出の両観点からプロジェクトをマネジメントし、施設をコストセンターからプロフィットセンターへと昇華させます。

14:20 ~ 14:50

日比谷総合設備株式会社

技術統括部 執行役員技術統括部長

小山 実

リノベーションを支える技術と実績

日比谷総合設備は、創業以来、新築案件の施工と並び、既存建物のリノベーション(改修)の提案・設計・施工も積極的に取り組んでいます。今回のプレゼンテーションでは、そういったリノベーションのこれまでの実例をいくつか紹介するとともに、それを支える幅広い技術や工夫についてご案内します。具体的には、建物用途を変えて生まれ変わらせる「コンバージョン」、「熱源改修」に関わるさまざまな技術、空調・衛生・電気・情報通信工事の「ワンストップ提供」、「省エネ診断」およびそれを元にしたエネルギー提案や改修、工事に伴い建物がご利用できなくなる期間をゼロないし最小限にとどめる「居ながら工事」、「ZEBプランナー」としてのエネルギー提案や改修、非常時においても建物使用や業務の継続を実現する「BCP」、お客様のサイフに優しい「補助金やリースの活用」提案などを予定しています。

1F 展示会場 企業プレゼンコーナー

15:00 ~ 15:30

プロパティデータバンク株式会社

常務取締役 経営企画担当

大田 武

弊社が展開する
データサイエンス事業

弊社は 2000年より、不動産を活用する企業・法人・公的機関向けにクラウドサービス「@プロパティ」を提供しています。そして昨年、長年のクラウドサービス運用実績及び獲得した知見に最新のデータ分析手法を融合した出店予測サービス「スピードアンサー」の提供を開始しました。お客様の持つ経営データと不動産・地理情報等を融合、最新のデータサイエンスを積極的に活用することで、飲食・小売業など多店舗を展開する企業の出店検討の効率化、既存店舗の運営改善を支援します。また、継続利用することで予想モデルが強化され進化する、従来の業務コンサルティング等とは一線を画す画期的サービスです。今回は、これら弊社が展開するデータサイエンス事業の内容の一部についてご案内致します。

15:40 ~ 16:10

株式会社FMシステム

システム開発部 マネージャー

千野 元就

BIM-FMによる効率的な
施設情報マネジメント

施設管理業務には、施設に関する膨大かつ様々な種類の情報を整理し、FM専用のデータベースを構築して活用することが重要です。FMデータベースには、施設の基本情報や保全情報、長期修繕計画に必要な修繕情報やエネルギーに関する情報があります。そして、これらの情報は最終的に建物のライフサイクルコストの算定を行い、将来かかるであろう施設コストのシミュレーションに利用することができます。

株式会社 FMシステムでは FMデータベースと BIMを連携させた『BIM-FM』ソリューションの開発を行って参りました。

この度、BIMモデルの共通フォーマット (IFC形式) を利用した新しい『BIM-FM』ソリューションをリリース致します。

本プレゼンテーションでは、弊社が手掛ける『BIM-FM』ソリューションによって、BIMと FMをどのようにつないで活用するのか、また IFCの利用によって従来の『BIM-FM』にどのような変革をもたらすのかをデモンストレーションを交えてご紹介いたします。

16:20 ~ 16:50

高砂丸誠エンジニアリングサービス株式会社

執行役員 営業本部長

西片 一成

メーター自動読み取り技術を用いた
省人化

当社は、設備メンテナンス会社として、設備を総合的に管理することで、顧客企業の“経営に寄与する人のための3つの省”～省人化・省リスク・省エネ～に取り組んでいます。

その取り組みの中から、今回、当社が共同開発した Lilz-Gauge (リルズゲージ) メーター自動読み取りサービスを利用した“省人化”への取り組みをご紹介します。

日常巡視業務や運転状況確認など、人的業務により実施している日常点検のデータ収集や入力、専用 IoTカメラで各種メーターを自動的に読み取りすることで、作業時間を削減し省人化を実現します。また、設備情報管理システム (MET CLOUD) やデータ収集分析ソフト (GODA CLOUD) とのデータ連携により、これからの「スマートメンテナンス」に対応するものです。

施設管理 (点検作業) の効率化・省人化ツールとして活用いただきたく、詳細内容をご紹介します。

17:00 ~ 17:30

株式会社ウフル

X United Business Development Center

井上 哲也

未来志向型のFM
—IoTを活用した時間戦略と気候変動対策—

世界的に不可避となった気候変動対策は社会的責任を果たす大きな意義を持つようになり、メンテナンス事業にも変革の波が押し寄せようとしています。また、常態化している人手不足はメンテナンス事業の運営基盤までも脅かしつつあります。これら二つのテーマはこれまでに積み上げてきた事業ノウハウで打開していくことは難しく、新たな視点に立った解決策が求められています。(株)ウフルでは、オフィスや施設の環境情報や設備の状態を可視化し、現場の環境や業務を観察してきた中から、未来志向で課題解決に向けた取り組みを開始しました。

気候変動対策に資する施設運営資源の有効利用や、快適で無駄のないオフィスの照明空調制御に関する取り組みについてご紹介いたします。

1F 展示会場 企業プレゼンコーナー

10:00 ~ 10:30

福井コンピュータアーキテクト株式会社

J-BIM推進課 主任

飯島 勇

BIM-FMの仕組み概要を解説

BIMの技術がFMに利用できる時代になりつつあります。ただ単にBIMと言っても使えなければ意味が無いと思い実際にFMではどのようなBIMデータが必要で何に利用できるのかを研究してまいりました。

弊社のお客様と一緒に研究し、2015年にはFM連携機能を搭載したソフトをリリース。問題点なども多く試行錯誤を行いながら現在に至ります。まず今回はBIM-FMの仕組みを簡単に解説いたします。

10:40 ~ 11:10

三菱地所株式会社

総務部 ユニットリーダー 兼 総務部
ファシリティマネジメント室長

竹本 晋

常に進化し続ける ワークプレイスを目指して

「働き方改革の推進」と「自らのワークプレイス変革を顧客提案や今後の街づくりへ繋げる」ことを目的とした本社移転から早2年が経過しました。本社移転はあくまでそうした課題を解決するための「スタート」であり、移転後も社員の声を聴きながらワークプレイスの環境改善の進化に取り組むと共に、今後の街づくりに繋げていくための実証的な取組も推進しています。また、「働きやすい」環境づくりに止まらず、社員1人1人がより「働き甲斐」の感じられる会社へと変革していくために、総務部（FM）のみではなく、コーポレートの関係部署とタッグを組んで、働き方改革推進事務局としても活動しています。今回は本社移転後のハード×ソフトの取組について詳しく解説しますので、ワークプレイス改革を考えている企業の皆様のみならず、働く「人」にフォーカスした取組を検討されている企業の皆様もぜひご参加頂ければと思います。

11:20 ~ 11:50

清水建設株式会社

建築総本部設計本部 プロポーザル・ソリューション推進室 FM推進部・主査

田中 厚三

コミュニケーション可視化による シミズのワークプレイスづくり

人口減少、総労働時間規制の流れの中で生産性を高めることが社会課題である今日、

労働力不足を解消するための対策のひとつに知的生産性を上げることが考えられている。知的生産性の向上には、オフィスにおけるコミュニケーションの活性化は不可欠であり、企業の持続的成長のために欠かせないものと考えられている。

シミズのワークプレイスづくりは、お客様のコミュニケーションを可視化し、一人ひとりの働き甲斐が増し、組織の活力・パフォーマンスが最大化する“場づくり”と“働き方改革”を支援します。以下に事例をもって紹介します。

- 事例1) ユーザーニーズを可視化して、コンセプトづくりからワークショップで支援
- 事例2) 組織のつながりを可視化して、ゾーニング計画にいかす取組み
- 事例3) 共用スペースの利用率を可視化して、プログラミング支援 他

12:50 ~ 13:20

日本メックス株式会社

技術本部技術部技術担当 総括部長

井上 潔

ICTを活用した 維持管理業務の展開

当社は、昭和47年（1970年）の設立以来、約半世紀にわたり、NTTグループ各社ビルをはじめとした各種建物・設備の「維持管理」と、豊富な施工実績に基づく技術力・ノウハウを活用した「保全工事」の2つの事業を軸に、安心・安全・快適性を追求し続けてきました。

「総合管理」「調査・診断」「保全工事」のサイクルをタイムリーに循環させることにより、お客様にご満足いただける付加価値サービスを提供すべく日々業務に取り組んでいます。

しかし、昨今の人口減少、若者の建設業界への就職希望減少等の影響を受け、当社も継承人財の確保に苦慮しており、労働力不足対策が喫緊の課題です。

その課題を解決する一つの方法として、近年発展が目覚ましいICT技術を当社の事業領域にいち早く導入すべく検討を進めています。今回は当社におけるICTを活用した維持管理業務の取り組みについてご紹介します。

1F 展示会場 企業プレゼンコーナー

13:30 ~ 14:00

株式会社エフエム・スタッフ(イトーキ)

FMマーケティング部 文書管理コンサルタント

田中 磨子

働き方改革
(ペーパーレス～オフィス構築)

「働き方改革」の成果として生産性の向上や業務の効率化が求められる中、改めてペーパーレス化への取組みが見直されています。しかしながら、安易な電子化や無理な文書廃棄は返って企業の業務効率を下げることになりかねません。まずは文書削減だけでなく情報（文書）の共有と、有効活用を目指した文書管理体制の構築が重要です。

さらにペーパーレスを活かし、ワーカーにとって柔軟で働きやすい環境を構築し、「テレワーク」だけでなく業務内容に応じて適切な場で働くワークスタイルが求められます。そして社員の皆様自身の手で、納得感をもって新しく実現したいワークスタイルを作り上げる必要があります。そのためには、社員によるワークショップでワークスタイルや機能についての検討を行った上で、実際のオフィスプランにまで落とし込んでいくことが有効です。

今日は、ペーパーレスと社員ワークショップによるオフィス構築についてご紹介します。

14:10 ~ 14:40

大成建設株式会社

ソリューション営業本部 ライフサイクルケア推進部 FM推進室長

高野 康幸

実践！大成建設のFMは
ウェルネスを進化させる

大成建設のFMは「人とテクノロジーの共創」をベースに「ウェルネスの種」を育み、進化し続けています。企画力・技術力・実証力、3つの力を活かし、FMを持続的に支援します。

ウェルネスの種1：働きやすさと知的生産性の向上を目指し、ワークスタイル変革を推進した、京急グループ本社様。2019年春に認証開始された、CASBEE-スマートウェルネスオフィス認証のSランクも取得されました。

ウェルネスの種2：新築/既存建物全体で世界初、WELL 認証最高ランクの「プラチナ」を取得した大成建設「人と空間のラボ」。WELL 認証をガイドラインとし、ソリューションの効果を実証しました。

ウェルネスの種3：建物ライフサイクルから抽出した多様なデータをFMプラットフォームでつなぎ、建物の健全性の見える化・作業員状況の見える化・施設管理のデジタル化を実現、ファシリティマネージャーを支えます。

14:50 ~ 15:20

住友セメントシステム開発株式会社

FMソリューション部 営業チーム 主任

下野 勝秀

建物維持管理情報の活用と
その蓄積手法

建物管理業界では、従来からの管理費用の低減要求が続く一方で、建物の長寿命化を見据え、管理品質への要求が高まってきております。こうした中、管理品質や改善提案力を差別化の武器として、その取組みを強化するために積極的な投資を行う企業も出てきております。

具体的には、紙に点検結果を記入し自席に戻ってExcel等の管理ファイルに転記を行うといった点検業務の効率化のためにタブレット端末が検討され、導入が進んでいます。また、スマートフォンを活用し、クレームや修繕といった作業結果の入力や検針作業を行う取り組みも始まっております。

蓄積された情報を自社で管理することにより、不具合履歴や設備機器の故障傾向把握等を誰もが確認出来き、また品質維持や改善のためのデータの二次利用が行えます。本年は基本的に立ち回り日々のビル管理における情報をどの様に簡単に効率的に収集・管理できるのか、日常業務の流れを抑えながらどのような活用ができるのかをご紹介します。

15:30 ~ 16:00

イオンディライト株式会社

執行役員 営業統括

宮本 弘紀

大災害時代における
FM企業の担うべき使命

近年、自然災害が多発化する中、社会や企業にとって人々の安心・安全を守り、企業の事業継続に資するFMの重要性が高まっている。

イオンディライトのお客さまへの災害復旧支援体制は、阪神淡路大震災や東日本大震災の経験等を糧に進化を重ね、その後の熊本大震災や昨年の西日本集中豪雨等でも、有効に機能することを実証している。

現在、地域のショッピングセンターは、災害時の物資供給と住民の避難拠点として重要な社会インフラであり、弊社はその機能を維持し事業継続させる社会的使命を担っている。このため、有事の際に速やかに対策本部を立ち上げ、豊富な全国ネットワークと専門人材を最大限に活用、被災したファシリティの早期復旧を支援する仕組みを構築し、現在もICT導入等による機能強化を行っている。本発表では、「ヒトを守る」FM企業として、当社がこれまでに取り組んできた災害対応実績を中心にサービスとしてのBCP対策を今後の展望を含め紹介する。

Exhibition

展示会のみどころ

CONTENTS

1F 展示ホール	
20日(木)	
オープニングセレモニー 9:30- 9:50	アット・ファシリティラボ株式会社 47 株式会社 FMシステム 福井コンピュータアーキテクト株式会社 株式会社アプトシステム
開催 9:50-18:00	株式会社ディー・サイン プレイスマネジメント研究所 48 株式会社 NTTファシリティーズ 大成建設株式会社 株式会社エコ・24
21日(金)	
開催 9:30-17:30	プロパティデータバンク株式会社 49 日比谷総合設備株式会社 セイキ工業株式会社 JR東日本ビルテック株式会社
	株式会社山下 PMC 50 株式会社アイスクウェアド 株式会社スターメンテナンスサポート シバタ工業株式会社
	住友セメントシステム開発株式会社 51 株式会社ユニティ 日本メックス株式会社 株式会社ウフル
	株式会社ぶんぶく 52 株式会社イトーキ 株式会社内田洋行 株式会社オカムラ
	コクヨ株式会社 53

ブース No.1

アット・ファシリティラボ 株式会社

〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-26-8
高橋ビル6階
TEL.03-6280-4373
<https://www.afic.jp/>

施設総合研究所 —遊休資産の利活用—

原状回復工事・解体工事にかかるコストは、企業にとって非生産投資であるにも関わらず、非常に大きな負担となります。設備や工場の解体・撤去費用がネックとなり、未来の事業計画が頓挫していませんか。我々は、お客様と共に、従来の「いらなくなったもの＝廃棄費用をかけて捨てる」という常識を破り、もったいない精神を根幹に、弊社独自のスキームを活用して有価物を見つけ、売却益を生み出すことができます。

弊社では、ビジネスサイクルの中で必ず訪れる『無くす、潰す、壊す、減らす、移動する、入れ替える』そのような、お客様の大切なタイミングに、不要資産、遊休設備・什器類、廃棄及び廃棄予定品々等の買取を行う事で、廃棄費用や、解体、原状回復、撤去等の工事のコスト削減、そしてCSR（ゴミの削減）へのお手伝いをさせていただきます。是非、お気軽に「施設総合研究所（アットファシリティラボ株式会社）」のブースへお越しくださいませ！

ブース No.2

株式会社FMシステム

〒112-0014
東京都文京区関口2-3-3
目白坂STビル6階
TEL.03-6821-1701
<https://www.fmsystem.co.jp/>

IFCによる BIM-FMプラットフォーム

株式会社FMシステムが提供するFM分野のパッケージソフトウェアは、「BIM（Building Information Modeling）」との連携で、より効果的な施設管理を可能にします。今回、新たにIFCデータに対応したBIM-FMプラットフォームをリリースし、WEBブラウザによるBIMモデルの表示や属性情報のデータ管理を備えた施設情報マネジメントソリューションを実現しました。

■ BIM × FMソリューションのご紹介

- ・ 部位部材から長期修繕コストをシミュレーション：「FM-Refine」
- ・ WEBブラウザで施設台帳の有効利用をサポート：「FINE-WEBS」
- ・ 建物の図面や書類を一元管理：「まいく郎WEB」

各種BIM製品（GLOOBE、ARCHICAD、Revit、i-ARM）とのBIM-FM連携を体験できるデモコーナーもご用意します。

ブース No.3

福井コンピュータ アーキテクト株式会社

〒104-0045
東京都中央区築地5-6-4
浜離宮三井ビルディング6階
TEL.0570-039-291
<https://www.fukuicompu.co.jp/>

日本のBIM-FMソリューションを実現!

福井コンピュータアーキテクト株式会社は日本における3D建築CADベンダーです。BIM-FMの新しい技術を開発し中長期修繕計画・施設台帳管理に連携することが可能です。（株式会社FMシステム製品と連携）

また、BIM-FM用ビューワもリリースし活用の幅が増えております。

そのBIMシステム「GLOOBE」は、日本仕様の建材データや自由度の高いデザイン機能、建築基準法に沿った法規チェック等、日本の設計に最適化された機能を多数搭載しており、日本有数のゼネコン・組織設計事務所・発注者の皆様にご活用いただいております。

ぜひ、展示ブースへお越し頂き日本製BIM-FMソリューションをご体感ください!

ブース No.4

株式会社アプトシステム

〒221-0835
神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-26-4
第3安田ビル3階
TEL.045-534-8883
<http://www.aptsys.co.jp/>

計画保全のPDCAサイクル実現のために! —FMAXSのご提案—

建築物計画保全PDCAサイクルの実現を支援し、LCM導入効果が期待できるFMAXS。図面（CAD図面、仕上げ表）をPDF化し保全項目となる部位部材を抽出し数量を拾い出すという初期データ生成を大幅に効率化しました。

- 主たる機能**
1. 長期修繕計画
 2. 劣化診断に必要な劣化カルテ自動生成
 3. 多彩なシミュレーション機能（計画・FCI）
 4. 工事優先順位、予算獲得根拠出し
 5. 工事実績更新

WEBシステムのFMAXSは、クラウドまたはオンプレミスにてサービスをご提供いたします。また、FMAXSマンション版もご用意いたしております。当社のブースにて、FMAXSを是非ご体験ください。

皆様のお越しをお待ちしております!

ブース No.5

株式会社ディー・サイン
プレスマネジメント研究所

〒104-0031
東京都中央区京橋3-3-11
VORT 京橋5階
TEL.03-3243-2500
<https://www.place-management-institute.com/>

オフィス立地・オフィスビル・オフィス環境など
各種調査レポート

【オフィス環境診断】自社の現状の仕事環境課題を浮き彫りにする、また今後の仕事環境への最適投資判断を後押しする為のツール『ワークプレイスサーベイ』(基本版無料)について、事例も交えた内容の説明を行っております。

【オフィス立地ブランド調査】都内50ヵ所のビジネス街を対象とし「働きたい場所のトレンド」や各エリアの「イメージ特性」を調査。オフィス移転における立地検討時など、定量的なデータをもとに戦略を立てる為のツールとしてお役立て頂けます。ブースでは、一部無償公開しているデータについて、説明を行っております。

【オフィスビルブランド調査】首都圏50棟のオフィスビルを対象とし「働きたいビルのトレンド」や各ビルの「イメージ特性」を調査。『オフィス立地ブランド調査』同様、定量的なデータをもとに戦略を立てる為のツールとしてお役立て頂けます。ブースでは、その概要をご説明しております。

ブース No.6

株式会社
NTTファシリティーズ

〒108-0023
東京都港区芝浦3-4-1
グランパークタワー26階
TEL.03-5444-5011
<https://www.ntt-f.co.jp/>

エンゲージメントを高める
ワークプレイスマネジメント

NTTファシリティーズグループでは、ワークプレイスを通じたエンゲージメント向上を目指しています。

NTTファシリティーズ：オフィス環境から働き方改革・生産性向上を実現します。

働き方改革の推進には、コミュニケーションを活性化させるオフィス環境の構築が重要です。定量化されたデータに基づくオフィス環境の構築と継続的なマネジメントにより、生産性向上を実現します。

NSFエンゲージメント：場から人をエンゲージメントするクリエイションとソリューション

クリエイティビティとテクノロジーにより、“場から人をエンゲージメントする”ワークプレイスの新しいスタンダードを提供します。

ブース No.7

大成建設株式会社

〒163-0606
東京都新宿区西新宿1-25-1
TEL.03-3348-1111
<https://www.taisei.co.jp/>

Wellness Evolution!
実践! 大成建設のFMはウエルネスを進化させる

大成建設のFMは「人とテクノロジーの共創」をベースに「ウエルネスの種」を育み、進化し続けています。企画力・技術力・実証力を活かしながらウエルネスを進化させている姿をご紹介します。

ウエルネスの種1 働きやすさと知的生産性を向上させる / “京急グループ本社”CASBEEスマートウエルネスオフィス認証Sランク取得 / 従業員へのアンケート調査結果とともにご紹介

ウエルネスの種2 ZEB+WELLでウエルネスを進化させる / “大成建設ZEB実証棟”建物全体で世界初のWELL認証プラチナ取得 / 105の評価項目中90項目をクリアした、技術センターZEB実証棟のご紹介

ウエルネスの種3 多様なデータをエビデンスとして、FMを進化させる / 「施設管理、施設戦略のためのエビデンス」としてFMへの活用が期待される、建物ヘルスマonitoring・作業員状況の見える化ツール・施設管理のデジタル化をご紹介します

ブース No.8

株式会社エコ・24

〒105-0004
東京都港区新橋5-34-3
栄進開発ビル4階
TEL.03-3433-8378
<http://www.eco24.jp>

アスベスト無害化CAS工法

アスベスト無害化技術(CAS工法)の開発に成功。ストレートシリコンを主原料とした液剤をアスベスト建材へ低圧噴霧で固化し、同時に人体へ無害な形質にアスベストを変化させてしまう技術。本技術は国の認証機関より建設技術審査証明書も出されている。現在、アスベスト対策が困難な鉄道、空港などの公共施設や、オフィスビル、商業施設、煙突内部、エレベーターシャフト内のアスベストの無害化封じ込めや外壁除去作業を展開し、施工事例は数百にのぼる。夜間や土日祝日等の作業により施設の営業や稼働を止めずに進めることが可能であり、作業中の作業場内でもアスベスト飛散はほぼ皆無で安全。また、工期や金額などでアスベスト対策を悩んでいる煙突断熱材対策などでも、短工期、安価などでここ数年、官公庁・民間施設・病院・学校などで採用されている。

ブース No.9

プロパティデータバンク 株式会社

〒105-0013
東京都港区浜松町1-29-6
浜松町セントラルビル
TEL.03-5777-4651
<http://www.propertydbk.com/>

「@プロパティ」が 先進のファシリティマネジメントを実現します

ファシリティは、人・物・金・情報と並ぶ経営資源と位置づけられ、近年ますます組織経営の課題として重要性を増しています。
プロパティデータバンクが提供する統合資産管理クラウド「@プロパティ」は、オフィス・店舗・工場・マンションなど10数万棟にのぼる各種施設におけるファシリティマネジメント（FM）業務に活用されています。
施設・設備の保守・修繕記録をはじめとする台帳管理、工事等の予算実績管理、エネルギー使用量管理や法定報告書作成など、主要なFM業務をすべてクラウド上で管理し関係者間で共有することが可能であり、資産・設備の見える化と効率的な活用、ファシリティコストの削減、業務改革の促進に貢献します。
本展示会では、FM業務における先進的な活用方法を「@プロパティ」の導入事例や操作体験でご紹介いたします。

ブース No.10

日比谷総合設備株式会社

〒108-0023
東京都港区芝浦3-4-1
グランパークタワー31階
TEL.03-3454-1264
<http://www.hibiya-eng.co.jp/>

建物のライフサイクル見据えた提案で ファシリティ価値をアップ

ファシリティの付加価値を高めるリノベーション技術をマトリクス形式で見える化します。
日比谷総合設備は、新築案件の施工と並び、既存建物のリノベーション（改修）の提案・設計・施工にも注力しています。そういったリノベーションの実績と、それを支える幅広い技術・工夫とを、マトリクス形式で整理し、当社のリノベーション工事の強みを見る化して展示します。支える技術・工夫は、建物用途を変えて生まれ変わらせる「コンバージョン」、「熱源改修」に関わるさまざまな技術、空調・衛生・電気・情報通信工事の「ワンストップ提供」、「省エネ診断」やそれを元にしたエネルギー提案や改修、工事に伴い建物のご利用できなくなる期間をゼロないし最小限にとどめる「居ながら工事」、「ZEBプランナー」としてのエネルギー提案や改修、非常時においても建物使用や業務の継続を実現する「BCP」、お客様のサイフに優しい「補助金やリースの活用」提案などを予定。関連企画として2月20日（木）14：20から企業PRプレゼンも行います。

ブース No.11

セイキ工業株式会社

〒359-0021
埼玉県所沢市東所沢5-10-1
TEL.04-2951-1660
<http://www.seiki.gr.jp>

オリジナル商品の創造と プラスチック製品マルチクリエイター

セイキ工業株式会社は関東を拠点に合成樹脂の異形押出成型品、射出成型品を24時間稼働し月間700tの生産、出荷をしております。昨今は成型難易度の高い高機能PET樹脂成型品も多く生産出荷すると同時に新しい素材の成型に絶えず挑戦しております。
また、自社開発商品である窓廻りを中心とした省エネ製品の遮熱スクリーンや高断熱スクリーン、天然木代替品の合成木材、自然素材の竹炭を使用した消臭剤などオリジナルティーあふれる製品を生産している企業です。

ブース No.12

JR東日本ビルテック 株式会社

〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-2-2
JR東日本本社ビル8階
TEL.03-5334-0630
<http://www.jrefm.co.jp/>

JR東日本グループにおける ファシリティマネジメントイノベーション

JR東日本グループは、鉄道事業を中心に駅ビルやホテル、エキナカ開発など、様々な事業に取り組んでいます。いずれも公共性の高い施設を擁することから、「安全」「安心」と「快適」を同時に実現するハイレベルな維持管理が求められています。
JR東日本ビルテック株式会社は、JR東日本エリア内の約1,700の駅、延べ面積約310万㎡の駅ビルやエキナカの商業施設、オフィスビル、ホテルなどの建物の維持管理を中心に、品質や資産価値の向上、省エネルギーの推進を果すためのファシリティマネジメントを実施しています。
JR東日本グループのファシリティソリューション企業として展開する事業の中から、省エネルギー、品質管理、人材育成、今後の展開などについてパネルでご紹介すると共に、鉄道グループ会社であるがゆえの取り組み事例を、実機展示にて、ご紹介いたします。

ブース No.13

株式会社 山下PMC

〒104-0044
東京都中央区明石町8-1
聖路加タワー29階（受付30階）
TEL.03-6853-7700
<https://www.yPMC.co.jp/>

ビジョン指向型FM『Facility Dr.®』 経営ビジョンの実現を支援します。

山下PMCはお客様の『施設参謀』として、お客様の事業戦略も含めたニーズを把握し、施設戦略に落とし込んだ上で、プロジェクトマネジメント・コンストラクションマネジメントを手掛ける会社です。弊社は従来の課題解決型FMではなく、企業のあるべき姿を見据えた"ビジョン指向型FM"をご提案いたします。

ビジョン指向型FMがもたらす効果は、費用削減に留まらず、お客様のあるべき姿（ビジョン）を共に目指す事で収益向上を実現し、企業価値を高めます。

山下PMCは、日本のコンストラクションマネジメントのパイオニアとして豊富な実績があり、これらの経験に裏付けされた確かな品質・多角的な視点でサービスを展開しています。

展示ブースでは、ビジョン指向型FM『Facility Dr.®』で、経営ビジョンの実現を支援した、全国各地の事例をご紹介しますので、是非お越しください。

ブース No.14

株式会社 アイスクウェアド

〒100-0014
東京都千代田区永田町2-17-4
笠松千代田ビル3階
TEL.03-6457-9540
<https://www.isquared.co.jp>

ISO41000対応! 世界標準のFM/IWMSシステム「ARCHIBUS」

ARCHIBUS（アーキバス）は、世界で非常に著名な米国製のFM/IWMSシステムです。ISO41000にも対応しており、御社のファシリティマネジメント業務を更に加速させ、強力に支援するシステムです。BIMやCAD図面との強力な連携ツールも有しており、Autodesk AutoCAD及びRevitデータのプロパティ情報を、双方向連携する機能も兼ね備えております。ARCHIBUSは、世界190以上の国と地域で22,000社もの導入実績を持ち、ARCHIBUSで管理されている建物・不動産は2,200万棟以上に上り、ファシリティコスト低減効果は年間1兆円超に及びます。金融、教育、医療、政府、製造業などのあらゆる業界において、適切な施設及びインフラ情報を、タイムリー且つ適切に提供するという戦略的事業計画の実現の為、ARCHIBUSを活用されています。当社のブースでは、ARCHIBUSの実機展示並びに製品紹介を行います。特に諸外国で進んでいるBIMやIoTとARCHIBUSの連携活用事例や、導入事例をご紹介しますので、是非ともお立ち寄りくださいませ。

ブース No.15

株式会社 スターメンテ ナンスサポート

〒700-0973
岡山県岡山市北区下中野334-110
日商ビル5階
TEL.086-805-1766
<https://www.ecopu.net/>

コスト削減だけじゃない、儲かる設備管理!

中小企業のユーザー用に開発したクラウド型ファシリティマネジメントシステム「INFORAP」では、「人」「物」「金」「情報」をデータベースで一元管理することで次世代へ繋ぐ経営資源を最適化します。経営者や本社管理職、現場の従業員が情報を即座に共有し連携することで、企業のさまざまなお悩みを解決できます。

INFORAPで経営資源を一元管理することで得られるものはコスト削減だけではありません。企業にとってメリットのある設備管理をすれば、次の事業戦略が見える化してきます。例えば、車両とドライバーを一元管理すると、点検のアラート発報や車検スケジュールを見るだけでなく、資産としての車両価値がレポートとして出力できます。情報を集約するだけでなく、価値あるアウトプットを行い、車両の使用状況の把握はもちろん、売却金額の査定、保険金額の適性化などを図る事が出来ます。中小企業の戦略的設備管理システムINFORAPでは経営資源を最適化し、儲かる設備管理を目指します。

ブース No.16

シバタ工業株式会社

〒674-0082
兵庫県明石市魚住町中尾1058
TEL.078-946-1515
<https://www.sbt.co.jp>

社会(暮らし)を守りつづける、ここから。

シバタ工業株式会社は、大正12年(1923年)に創業したゴムメーカーです。

「防水扉・止水板」：近年の異常気象による局地的集中豪雨（ゲリラ豪雨）や、大型の台風の上陸により都市部の内水氾濫や河川氾濫、臨海部の高潮などにより極めて短時間で都市水害をもたらします。住宅やオフィス、店舗はもちろん、交通機関や公共施設をはじめとする社会インフラへの水害対策として、各種防水扉、止水板をご提案します。

「安全長靴・作業靴」：安全性、機能性、耐久性、快適性。どれをとっても最高のご満足いただけるシバタブランド。各種業務用履物に求められるあらゆるニーズを、高いレベルでバランスさせたシバタ工業の製品であるからこそ、様々な分野のプロフェッショナルの皆様から高いご支持をいただいております。過酷な状況下における労働者の安全と健康を確保する労働安全衛生（OSH）に、私たちの【安心基準】をお届けします。

ブース No.17

住友セメントシステム 開発株式会社

〒105-0012
東京都港区芝大門1-1-30
芝NBFタワー3階
TEL.03-6403-7866
<https://www.sumitem.co.jp/>

オーナーと現場をハッピーに！

弊社では、様々な業界向けに情報の“見える化”を独自のアイデアとICTで支援しております。ファシリティマネジメント分野では、クラウド型ビルマネジメントサービス「FM for Dynamics」が施設のさまざまな情報を徹底的に“見える化”します。

建築・設備台帳を始め、不具合、修繕履歴、エネルギー管理、スマートデバイスを利用した点検・検針業務の支援までを立ち上げから運用までトータルで提供できるのが強みとなっております。

本年は、維持管理情報を蓄積し、活用する際に課題となる入力面の負荷を軽減しながら効率的に収集するICT技術のご紹介と実際のFM業務に活用して管理されている業務の流れについて具体的にご紹介いたします。

建物管理会社を始め、自社ビル所有の法人企業、設計会社の皆様にご導入いただいている「FM for Dynamics」をご参考ください。現場の業務を支援し現場が喜ぶだけでなく、オーナー側に喜ばれる建物情報の蓄積を始めてみませんか？皆様のご来場を心よりお待ちしております。

ブース No.18

株式会社 ユニティ

〒111-0052
東京都台東区柳橋2-16-22
ユニティ柳橋本社ビル4階
TEL.03-5835-3540
<https://www.lighting-unity.co.jp/index.html>

世の中を明るく照らす、店舗照明のユニティ

当社は「照空間」をプロデュースする照明メーカー兼代理店でございます。

自社製品の製造だけでなく、代理店として様々なメーカーの照明器具を販売します。

販売から、店舗や施設の照明空間の設計、電気工事、簡単な修繕工事も承っており、照明空間をワンストップサービスでサポートいたします。

また、照明器具だけでなく蓄電池や防犯カメラなど様々な設備機器も扱っております。

当日は、照明器具の「リース・レンタル」という初期投資ゼロの販売方法や、防災用品等をご案内いたします。近年、自然災害が増えている中、店舗や施設の開発において防災用品は大変重要な設備機器となります。「施設のLED化を考えている」「照明と一緒に提案できる商材を扱っている」「防災用品に興味がある」... など、様々な企業様のお越しをお待ちしております。

ブース No.19

日本メックス株式会社

〒104-0041
東京都中央区新富2-14-4
住友新富ビル
TEL.03-5541-5541
<http://www.meccs.co.jp/>

建物の資産価値向上につながる 維持管理と保全工事

日本メックスは、日本の通信を支えるNTTグループの各種建物やその関連施設の維持管理をおこなう会社として1972年に誕生しました。それ以来、維持管理と保全工事を通じて、多くのお客様の建物の安心・安全・快適を守り続けている会社です。パネル展示を通じて、当社の強みである、維持管理と保全工事をご紹介しますとともに、お客様建物資産価値の向上を目指した付加価値の高い改善提案をご提供いたします。ご来場の際は是非お立ち寄りください。

ブース No.20

株式会社ウフル

〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル4階
TEL.03-6895-1520
<https://uhuru.co.jp/>

最新テクノロジーでオフィスの課題解決

SDGsにも提唱される気候変動対策や国内では定常的な課題として取り上げられる人手不足は、避けられない課題の一つになっています。

ウフルは、IoTなどに代表される最新テクノロジーを活用したファシリティデータの可視化や取得したデータの活用など、未来志向の自由な発想から課題解決にアプローチしていきます。

今回の展示ではその一例として、快適で無駄のないオフィスの照明空調制御や、オフィス空間のデータ化・可視化からファシリティを有効利用する仕組みを紹介します。

<p>ブース No.21</p> <p>株式会社ぶんぶく</p>	<p>100年企業の板金屋。 細かな特注対応も得意です。</p>
<p>〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-4-9 TEL.03-5819-2221 http://www.bunbuku.co.jp/</p>	<p>弊社は板金加工屋です。屋外・屋内問わず設置されるゴミ箱や傘立てなど、ファシリティに欠かさない備品を製造できるメーカーですので、建物ごとに形状を変えた特注対応も得意としております。企業様毎の希望に沿った対応も可能ですので、お困りの事がございましたら、どうぞ弊社にご相談頂ければ幸いです。また、OEMノベルティグッズの輸入及び卸業も行ってまいりますので、ノベルティグッズの使用予定がございましたら、お気軽にご相談頂ければ幸いです。</p>

<p>ブース No.22</p> <p>株式会社 イトーキ</p>	<p>快適でありながら軽快な姿、時代にあった 自由な働き方にフィットするワークチェア</p>
<p>〒103-6113 東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング TEL.03-6910-3910 https://www.itoki.jp/</p>	<p>イトーキは新製品“vertebra03（バーテブラゼロサン）”を展示します。</p> <p>これまでのオフィス家具にはないリビングワークにも馴染む佇まいと快適性を実現する先進のメカニズム。そして、使い手や空間の個性に合わせて自在にカスタマイズできる拡張性の高さも特長です。ぜひ、お越しください。</p>

<p>ブース No.22</p> <p>株式会社内田洋行</p>	<p>働き方改革は会議室改革から! 知的生産性を上げるFMとは?</p>
<p>〒104-0033 東京都中央区新川2-3-9 TEL.03-3555-4770 https://office.uchida.co.jp/</p>	<p>働き方改革に取り組むうえで、まず課題にあげられるのは「会議」ではないでしょうか。しかし単に会議時間を減らすことが本質ではありません。会議改革への取り組みはワークプロセスの見直しであり、業務全体の生産性を上げることに繋がります。</p> <p>国内シェアNo.1の会議室予約管理システム「Smart Rooms」を活用して、ファシリティの効率的な運用を実現するとともに、会議メンバーひとり一人が持っているアイデアや情報を素早く簡単に共有することができる「Surface Hub 2 S」を用いて、よりスピーディーな意思決定を可能にし、チームの生産性を向上するなど、新たなコラボレーションのカタチをご体験いただけます。</p> <p>そしてそこから得られるビッグデータをもとにして、一人ひとりのアクティビティや、各会議室の運用を分析し、より知的生産性を高めることができる「会議診断サービス」をご提案いたします。</p>

<p>ブース No.22</p> <p>株式会社オカムラ</p>	<p>音と視線を意識しない、プライベートな作業環境</p>
<p>〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-7-18 TEL.045-319-3401 http://www.okamura.co.jp/</p>	<p>「テレキューブ」はさまざまな場所に容易に設置できるテレワークのためのコミュニケーションブース。セキュリティが保たれた静かな環境で、資料作成やメールなどの業務、電話、Web会議などでのコミュニケーションが可能。企業に働き方改革が浸透する中で、自宅など社外でテレワークをしている人や顧客とのWeb会議、また「テレキューブ」は、JR東日本や私鉄各社の駅、オフィスビルエントランスに公共空間向けモデルの1on1ミーティングを実施するための会議室不足という課題を解消できる導入が進んでおり、また働き方改革に取り組む企業のオフィス内にはオフィス設置用モデルの導入が進んでいます。</p>

コクヨ株式会社

〒108-8459
 東京都港区港南1-2-70
 品川シーズンテラス18F
 TEL.080-2520-2994
<https://www.kokuyo-furniture.co.jp/products/office/ing/>

新しい時代に、新しい働き心地を。
 さあ、あなたもUPTISingへ

コクヨはデスクワークにおける新しい視点で開発した、自分の好みに天板角度を調整できるワークステーション「UPTIS（アプティス）」をはじめ、コクヨ独自の画期的なチェア「ing（イング）」等を展示いたします。

今年の展示コンセプトは「デスクワークにおけるコクヨの考える最適な姿勢」。無意識に働きながらカラダの健康づくりをサポートし、“ワーカー一人ひとりがより一層、心身ともに健康で、イキイキと楽しみながら働ける環境”を、お客様にご体感頂ける展示を予定しています。

ナレッジマルシェ

株式会社ダイオーズは、1969年創業し、現在20万軒以上のお客様に事業所向けトータルサービスをお届けしています。

創業50周年を迎え、新たな事業、ダイオーズカフェテリアサービスをスタートしました。

「従業員に対する福利厚生の向上」は企業にとって重要な課題です。

当社は高性能なマシンと自社焙煎のコーヒー豆による高品質なコーヒーで「コミュニティ」と「リフレッシュ」を生み出し、ランチにバランスの良いお弁当を提供することで「健康経営」をご支援させて頂きたいと考えております。

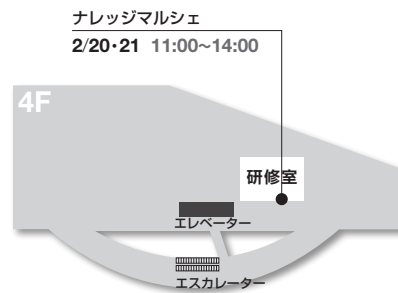
今回開設する「ナレッジマルシェ」では、人フォーカスの時代に相応し、人にやさしい昼食(お弁当)を体感。「SDGsに対応したツーウェイ容器の利用」、「糖質をカットした眠くならない食事」など、テーマ性を持った4種の日替わり弁当をワンコイン(税込 500円)でご用意致します。企業補助を導入した事業形態についても体験して戴けますので、是非この機会にご来場ください。

併せて、当社自社焙煎のコーヒーを提供致します。

※「引換券」を1階ドリンクコーナーにて販売致します。(税込 500円)

毎日限定販売(100食)となりますので、早めのご来場をお待ちしております。

弁当販売は11:00~13:40を予定。ナレッジマルシェは14:00までご利用いただけます。



コクヨ株式会社

〒108-8459
 東京都港区港南1-2-70
 品川シーズンテラス18F
 TEL.080-2520-2994
<https://www.kokuyo-furniture.co.jp/products/office/ing/>

新しい時代に、新しい働き心地を。 さあ、あなたもUPTISingへ

コクヨはデスクワークにおける新しい視点で開発した、自分の好みに天板角度を調整できるワークステーション「UPTIS（アプティス）」をはじめ、コクヨ独自の画期的なチェア「ing（イング）」等を展示いたします。

今年の展示コンセプトは「デスクワークにおけるコクヨの考える最適な姿勢」。無意識に働きながらカラダの健康づくりをサポートし、“ワーカー一人ひとりがより一層、心身ともに健康で、イキイキと楽しみながら働ける環境”を、お客様にご体感頂ける展示を予定しています。

ナレッジマルシェ

株式会社ダイオーズは、1969年創業し、現在20万軒以上のお客様に事業所向けトータルサービスをお届けしています。

創業50周年を迎え、新たな事業、ダイオーズカフェテリアサービスをスタートしました。

「従業員に対する福利厚生の向上」は企業にとって重要な課題です。

当社は高性能なマシンと自社焙煎のコーヒー豆による高品質なコーヒーで「コミュニティ」と「リフレッシュ」を生み出し、ランチにバランスの良いお弁当を提供することで「健康経営」をご支援させて頂きたいと考えております。

今回開設する「ナレッジマルシェ」では、人フォーカスの時代に相応しい、人にやさしい昼食（お弁当）を体感。「SDGsに対応したツウエイ容器の利用」、「糖質をカットした眠くならない食事」など、テーマ性を持った4種の日替わり弁当をワンコイン（税込 500円）でご用意致します。企業補助を導入した事業形態についても体験して戴けますので、是非この機会にご来場ください。

併せて、当社自社焙煎のコーヒーを提供致します。

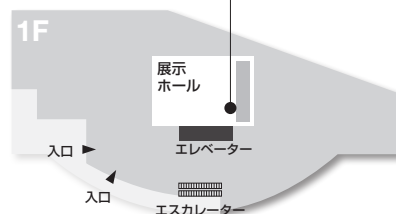
※「引換券」を1階ドリンクコーナーにて販売致します。（税込 500円）

毎日限定販売（100食）となりますので、早めのご来場をお待ちしております。

弁当販売は11:00～13:40を予定。ナレッジマルシェは14:00までご利用いただけます。

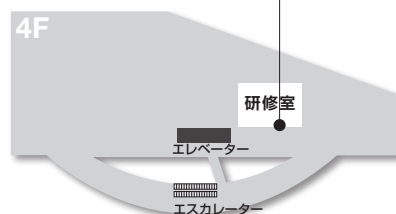
ドリンクコーナー

2/20 9:50～18:00
 2/21 9:30～17:30



ナレッジマルシェ

2/20・21 11:00～14:00



「第四の経営基盤」であるファシリティマネジメント(FM)を学ぼう!

2020年度 **認定** ファシリティマネジャー 資格試験



**認定ファシリティマネジャー
資格試験の必須参考書!**

受験申込: 2020年**4月1日**(水) ~ 2020年**5月15日**(金)

試験日: 2020年**6月28日**(日) 9時30分~16時40分 合格発表: 2020年9月2日(水)

試験会場: 東京・大阪・札幌・名古屋・福岡・仙台・金沢・広島・高松(9会場)

詳細はホームページ掲載の案内をご覧ください www.jfma.or.jp

JFMA

主催: FM資格制度協議会

事務局: 公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-13-6 浜町ビル6F

TEL.03-6912-1177 FAX.03-6912-1178 E-mail.info@jfma.or.jp